

学生の確保の見通し等を記載した書類

(目次)

1	学生確保の見通し及び申請者としての取組状況.....	1
(1)	学生確保の見通し	1
①	定員充足の見込み	1
②	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	4
③	学生納付金設定の考え方	6
(2)	学生確保に向けた具体的な取組状況	7
①	学部生に対する学生募集計画	7
②	オープンキャンパス	8
③	ホームページによる大学院情報の提供	8
④	大学学園祭における特設ブースの設置	8
⑤	大学院進学のための各種相談会開催	8
2	人材需要の動向等社会の要請	8
(1)	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	8
①	教育研究上の理念及び目的	8
②	養成する人材像	9
(2)	上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであること の客観的な根拠	9

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

家族の一員であるコンパニオンアニマルを対象とする動物医療がますます高度化・専門化していく中で、高度動物医療を支える人材養成が必要となることに鑑み、令和元(2019)年6月21日に、農林水産省の「獣医師法」及び環境省の定める「動物の愛護及び管理に関する法律」という2つの法律を包括した両省による「愛玩動物看護師法」が法制化された。愛玩動物看護師は、獣医師とともに動物医療を支えることに加え、人と動物の共生社会に不可欠である動物の終生飼養等に関して、非常に重要な役割を担うことになった。

現在、ヒトと動物の関係は、さまざまな自然環境が不可分に密接に関連しあっていることから、ヒトと動物の環境を一体のものとしてとらえ、配慮する必要があるという「One World-One Health」の概念が国際的に定着している。

さらに、今後は、医学・獣医学の横断的な連携(ワンヘルス・アプローチ)が重要視される中でワンヘルス・アプローチの一翼を担う当事者として動物看護師の必要性が高まっている。

また、高等教育の分野においては、学部教育では動物看護師の養成が中心であり、高度で専門的な動物看護の教育研究は、大学院に委ねられている。平成23(2011)年に、動物看護師資格の統一認定機構が設立(平成28[2016]年一般財団法人化)され、高等教育においては、8大学が受験資格を有している。そのうち、東京都に設置されている大学院修士課程を有する大学は、1大学(日本獣医生命科学大学)と非常に少ない(資料1)。

したがって、社会の需要に対応する人材の育成を急がなければならない。

学校法人ヤマザキ学園(以下、本学園という)では、平成6(1994)年に専修学校の認可を得て、学校法人化したことを記念し、創始者への遺徳を偲び、「山崎良壽記念奨学金制度」(資料2)を創設し、動物看護師が動物看護教育を行うことを目指し、指導者の養成を目的に授与者を支援してきた。本制度は現在まで継承され、奨学金授与者は571人に達し、その中で優秀な卒業生は、本学園に教職員として奉職し、令和2(2020)年度全教職員の43%が、本学園の卒業生である。

本学は、開学以降未だ7期のみ卒業生を輩出していること及び動物看護学が新しい学問分野であることから、他大学大学院修士課程への進学状況は、1期から7期まで

の本学卒業生総数 1,103 人のうち、平成 27 (2015) 年 3 月卒業生 1 人、令和 2 (2020) 年 3 月卒業生 2 人の合計 3 人 (1%未満) であり、社会人経験を経て大学院に進学した 4 人を含めると、計 7 人 (資料 3) である。

本学から大学院に進学した学生は、7 年間で 7 人となるが、本学園は、学祖 故山崎良壽が「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を建学の精神に掲げ、「生命 (いのち) を生きる」という教育理念のもと「ヤマザキ動物専門学校 (平成 6 [1994] 年認可) の前身である専修学校日本動物学院に、指導者を養成するため、グラジュエイト・プログラム (1 年制の専攻研究コース) を新設し、他大学の指導教員の指導のもと論文をまとめ、59 人 (資料 4-1) の卒業生を輩出した。その後、専門学校の教育を発展させたヤマザキ動物看護短期大学 (平成 15 [2003] 年認可) に専攻科 (動物看護学専攻) を新設し、指導教員の指導のもと論文をまとめ、56 人 (資料 4-2) の卒業生を輩出した。また、本学園の専門学校、ヤマザキ動物看護短期大学 (専攻科含む) 及び本学を卒業した学生のうち、他大学の大学院へと進学し、修士及び博士号を所持し、現在、本学園の大学及び専門職短期大学の専任教員として動物看護教育を担う者が 5 人いる。

このように本学園では動物看護教育の高度化及び指導者の養成に力を注ぎ、動物看護師が動物看護教育を行うことを目指してきたことから、この度の大学院修士課程の教育、加えて、将来に設置を目指している大学院博士課程でさらに発展させることを目指す。

ヤマザキ動物看護大学大学院 (以下、本大学院という。) は、教育基本法 (平成 18 年法律第 120 号) 及び学校教育法 (昭和 22 年法律第 26 号) の定めるところにより、建学の精神と教育理念に則り、学部における一般的・専門的教養の基礎の上に、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を極め文化の進展に寄与することを目的とする。

本大学院の目的を達成するために、教員体制及び教育施設を勘案した上で最大限の教育効果が得られる人数を考慮し、さらに社会情勢、以下の「②定員充足の根拠となる客観的なデータの概要」に記載した学生確保の見通しに鑑み、入学定員を 5 人と設定した。

なお、東京都に設置されている大学院 (日本獣医生命科学大学) は、入学定員 5 人、収容定員 10 人に対して、在籍者数 11 人 (令和元 [2019] 年 5 月 1 日現在) となっており、収容定員を満たしている。

本研究科を開設するにあたり、長期的かつ安定的に学生の確保を図る客観的なデータを得るために、本研究科の開設時の受験対象者である本学に在学している 3 年次生、本学卒業生 (社会人)、1・2 年次生及び 4 年次生を加えた合計 1,497 人に対して、「ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程設置に関するアンケート調査」を実施した (資料 6-1、6-2)。

その調査結果の詳細については、次の「②定員充足の根拠となる客観的なデータの概

要」で説明する。

また、進学対象となる3年次生及び卒業生の合計11人が進学意志を示していることから、本研究科入学定員5人に対し、2倍以上の進学希望者がいることになる。

なお、今回のアンケート調査の1・2年次生及び4年次生の回答者425人のうち、卒業後の進路として、本研究科へ「本学学部卒業時、進学したい」と23人が回答している。併せて、本学在学学生へのアンケート調査の中で、「社会人経験等を経てから進学したい」と回答している学生は、進学対象となる3年次生9人のほか、1年次生4人、2年次生2人、4年次生4人の合計19人であり、潜在的に大学院への進学を希望する学生がいることが分かる。このことから、本研究科が予定している入学定員5人を継続的に確保することが充分可能だと考える。

さらに、本学園在職の教職員の中にも、これまで本学に修士課程が設置されていなかったことから、本研究科が設置された場合、入学を希望している者もいる。本学園が設置する3校（ヤマザキ動物専門学校・ヤマザキ動物看護専門職短期大学・ヤマザキ動物看護大学）の指導者養成のために来年度も「山崎良壽記念教職員奨学金制度」の支援を受け、進学する者も想定される。

今までの進学実績に比べて、アンケート調査での進学希望者が多いのは、愛玩動物看護師が国家資格の専門職として認知されたことが大きく関係していると分析する。一般的に他の資格においても、国家資格化後に当該職種が社会に広く認知されることから、専門的な大学院教育の需要が高まり、大学院の課程が新設されている。このことから、愛玩動物看護師の法制化も同様の状況になると想定される。

動物看護学を教育・研究の対象としてきた本学において、本研究科の設置計画が具体化したことにより、アンケート調査結果のように学生の本研究科への進学意識が高まり、学生確保が可能であると考えられる。

将来、中長期的な学生確保の見通しについては、愛玩動物看護師の法制化により、名称独占に加え、業務独占（採血、投薬（経口等）、マイクロチップの装着、カテーテルによる採尿）の内容が明確となった。さらに「動物の愛護及び管理に関する法律」により職域（愛玩動物の終生飼養や災害時の動物対応等）が拡大した。従前の民間認定資格では、教育レベルが統一されていなかったが、愛玩動物看護師の国家資格法制化により、法の下、国家資格水準を満たす専門教育及び修士課程の教育が求められることが想定されることから、定員は充足されることが考えられる。

また、国家資格である人の看護師の人材養成が、専門学校での人材養成から大学での人材養成へと徐々にシフトし、その後、大学院修士課程、博士課程が設置され、高度な人材養成を行っていることから、愛玩動物看護師の養成においても、同様に大学での人

材養成の増加が見込まれる。大学での養成が増加すると、継続的に高度な専門知識を持った修士課程の人材ニーズが高まると予想する。

本研究科は、日本で初めての動物看護学部を基盤にした日本で初めての動物看護学研究科であり、今後日本の社会で必要とされる動物人間関係学領域を配置したことから、積極的な広報活動により、先行者として受験生の注目を集め、学生を確保していく考えである。

② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

以下、前項に記載したアンケート調査の方法と関連事項についての分析・結果の概要を述べる。

本研究科への進学意向や将来的な学生確保の見通しを調査するために、令和元(2019)年12月から令和2(2020)年1月の期間中に、設置構想中の大学院の概要を記載したリーフレット(資料5)を在學生に配布し、アンケート調査を実施した。また、本学卒業生に対しては、同様に設置構想中の本研究科の概要を記載したリーフレット(資料5)を同封したうえで、郵送によるアンケート調査(資料6-2)を実施した。

この結果、在學生は540人(回答率:77.1%)、卒業生は77人(回答率:9.7%)の合計617人(回答率:41.2%)から回答を得た。結果の概要については、以下のとおりである。

令和3(2021)年4月に本研究科を開設した際に、入学対象となる本学3年次生については、回答を得た115人のうち4人(3.5%)が、本研究科が設置された場合には「進学したい」と回答した。また、卒業生では、回答を得た77人のうち7人(9.1%)が「進学したい」と回答し、3年次生とあわせると計11人が進学を希望している。

このことから、定員充足は十分に可能だと考える。

さらに、実際に「本学学部卒業時、進学したい」と回答した在學生が、1年次生は192人のうち18人(9.4%)、2年次生は143人のうち5人(3.5%)で、1・2年次生においても、本研究科に関心が高く、具体的に進学を意識している在學生が多かった(表1)。また、「社会人経験等を経てから進学をしたい」と回答した在學生は1年次生が4人(2.1%)、2年次生が2人(1.4%)、3年次生が9人(7.8%)、4年次生が4人(4.4%)と合計19人であること、及び本研究科について「興味・関心がある」(表2)と回答した在學生が1年次生から4年次生までの計177人(32.8%)であり、卒業生30人(39.0%)を加えると合計207人(33.6%)であることから、今後、その中の一部の在學生・卒業生(社会人)が本研究科の志願者になる可能性を示している。

表1 本研究科への進学について

回 答	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業生	合 計
1. (本学学部卒業時) 進学したい	18人 (9.4%)	5人 (3.5%)	4人 (3.5%)	—	7人 (9.1%)	34人 (5.5%)
2. 社会人経験等を経 てから進学をしたい	4人 (2.1%)	2人 (1.4%)	9人 (7.8%)	4人 (4.4%)	—	19人 (3.1%)
3. 本学修士課程への 進学は考えていない	66人 (34.4%)	74人 (51.7%)	55人 (47.8%)	69人 (76.7%)	45人 (58.4%)	309人 (50.1%)
4. 現在は未定	104人 (54.1%)	62人 (43.4%)	47人 (40.9%)	17人 (18.9%)	25人 (32.5%)	255人 (41.3%)
合 計	192人 (100%)	143人 (100%)	115人 (100%)	90人 (100%)	77人 (100%)	617人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比

表2 興味・関心について

回 答	1年次	2年次	3年次	4年次	卒業生	合 計
1.興味・関心がある	80人 (41.7%)	42人 (29.4%)	38人 (33.0%)	17人 (18.9%)	30人 (39.0%)	207人 (33.6%)
2.あまり興味・関心がない	53人 (27.6%)	51人 (35.7%)	51人 (44.4%)	48人 (53.3%)	34人 (44.1%)	237人 (38.4%)
3.どちらでもない	59人 (30.7%)	50人 (35.0%)	26人 (22.6%)	25人 (27.8%)	13人 (16.9%)	173人 (28.0%)
合 計	192人 (100%)	143人 (100%)	115人 (100%)	90人 (100%)	77人 (100%)	617人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比

なお、本学在学学生及び卒業生への進学意向に関するアンケート調査の結果の詳細については、資料7で説明する。

③ 学生納付金設定の考え方

学生納付金設定の参考のため、「一般社団法人日本動物保健看護系大学協会」に加盟している大学の大学院修士課程の学生納付金を調査した。対象は、「修士（獣医保健看護学）」の学位を授与している2大学院と、関東近辺の2大学院の合計4大学院とした（資料8）（表3）。

表3 大学院の学生納付金比較表

都道府 県名	大学院名 研究科・専攻名	入学金	授業料 (実験演習 費等を含む)	施設・ 維持費	初年度納付金 (2年間の納付金)
東京	日本獣医生命科学大学大学院 獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻	200,000円	830,000円	—	1,030,000円 (1,860,000円)
北海道	酪農学園大学大学院 獣医学研究科獣医保健看護学専攻	140,000円	705,000円	—	845,000円 (1,550,000円)
山梨	帝京科学大学大学院 理工学研究科アニマルサイエンス専攻	310,000円	970,000円	240,000円	1,520,000円 (2,730,000円)
千葉	千葉科学大学大学院 危機管理学研究科危機管理学専攻	200,000円	800,000円	150,000円	1,150,000円 (2,100,000円)
平均		212,500円	826,250円	195,000円	1,136,250円 (2,060,000円)

修士課程における学生納付金（2年間）の平均額は、2,060,000円であり、最低額は1,550,000円、最高額は2,730,000円であった。初年度学生納付金内訳に係るそれぞれの平均額は、入学金212,500円、授業料（実験演習費等を含む）826,250円、施設・維持費195,000円で、初年度納付金合計額の平均は1,136,250円である。本研究科の納付金は、これらの金額を参考に以下のとおり決定した。

本研究科の学生納付金は、入学金、授業料（実験演習費含む）、施設・維持費で構成されており、初年度納付金は、入学金150,000円、授業料（実験演習費含む）800,000円、施設・維持費150,000円、合計1,100,000円とした。2年次生の学生納付金は、入学金を除く950,000円であり、2年間の学生納付金は、2,050,000円となる（表4）。

なお、学校法人ヤマザキ学園の卒業生は、本研究科の入学時には入学金を免除する。

表4 令和3（2021）年度 ヤマザキ動物看護大学大学院動物看護学研究科 学生納付金

（単位:円）

年次	入学金	授業料 (実験演習費含む)	施設・維持費	合計
1年次	150,000	800,000	150,000	1,100,000
2年次	—	800,000	150,000	950,000
合計	150,000	1,600,000	300,000	2,050,000

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

本学は従来から、学生確保のため、入試広報部を設置し、全学的な支援と協力のもと、積極的な学生募集活動を展開している。本研究科の学生確保についても、同様に以下のとおり、積極的な取り組みを行い、学生確保を図る。

① 学部生に対する学生募集計画

学生募集において主軸となる学部生に対しては、入学試験を4年次生8月、12月及び3月に実施することを想定する。修士課程進学説明会はその入学試験想定時期を元に、修士課程進学の意識を高めることを目的とし就職活動と進学の選択を意識する大学3年次生8月下旬または9月上旬に1回目を実施する。2回目は学年末試験が終わり、成績が確定する3年次3月下旬及び4年次4月上旬に具体的な入試方法等についての説明会を実施する。また、入学生希望者が申し出た際には、適宜説明会日程を設定し、個別相談に応じる。なお、1回目の説明会については、1年次生、2年次生も参加可能とし、継続的な学生確保の足掛かりとする。

② オープンキャンパス

オープンキャンパスは年間を通して高校生、卒業生、社会人及び保護者等を対象に実施する。特に、夏期には本研究科専任教員の研究紹介を中心に実施し、理解を深める。この機会を活用し、進学希望者を対象に、本研究科個別相談会等を積極的に実施する。

③ ホームページによる大学院情報の提供

本研究科の教員紹介・入試情報・教育研究内容・進路（就職）情報及び教育施設等について、わかりやすく発信する。

④ 大学祭における特設ブースの設置

本大学祭は高校生・保護者の他、近隣住民の参加が多いことから、本研究科の教育・研究内容を紹介できる重要な機会である。この機会を活用し、新設する本研究科ブースを設置し、教育・研究内容を紹介する。

⑤ 大学院進学のための各種相談会開催

オープンキャンパスに来場できない志願者のために、合同ガイダンスに積極的に参加し、進学相談に応じる等、志願者・入学者確保に向けた広報活動を展開する。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

① 教育研究上の理念及び目的

学校法人ヤマザキ学園は「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を建学の精神に掲げている。また、人間は、地球上に存在する多種多様な生命に対し、尊敬の心を持ち、共に生きるものに限りない愛を注ぎ、調和のとれた平和な社会の構築に寄与する豊かな人間性と幅広い視野を持つ人間教育を行うことを目的としている。

愛玩動物看護師の国家資格法制化により、従前の民間認定資格と比較して、法の下で高位平準化を満たす専門教育が求められる。それは動物看護師の重要性が、社会に認識され、必要とされる結果である。

本研究科は、動物看護学及び動物人間関係学を教育研究の対象とすると共に、生命に対する畏敬と高い倫理観を標榜し、法制化された愛玩動物看護師がチーム動物医療において果たす役割（人と動物の豊かな共生社会を構築すること）に鑑み、動物看護学における人と動物の関係に関する学術的理論及びその応用を広く教授研究することを以って愛玩動物看護師の養成所（専修学校等）、動物病院、動物関連企業及び動物関連団

体等に従事し、その教育・指導に貢献する人材を養成することを目的としている。

② 養成する人材像

本学は、建学の精神である「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を遵守し、「生命（いのち）を生きる」を教育理念として、人間も動物も大自然の生態系の摂理の中で生き、生かされているという原点を忘れずに、共鳴・共生する生命の思想を貫き、動物看護に関わる基本的な理論・技術を身につけ、動物看護に関わる専門的応用的能力を有する動物看護師を養成する。

動物看護学部を基礎とする本研究科では、学部教育を基盤に教育・研究を通して動物看護学領域及び動物人間関係学領域の2領域から人材の養成を目指す。

さらに、動物看護師が国家資格化となったことを踏まえ、養成所（専修学校等）における教育・指導に貢献する人材の養成も目指す。

本研究科の「養成する人材像」は以下の通りである。

[養成する人材像]

- ア 建学の精神と教育理念に則り、生命を尊重する倫理観を備え、社会に貢献する人材
- イ 動物病院等に従事し、動物看護師として、高度動物医療の研究・発展に貢献する人材
- ウ 動物関連企業及び動物関連団体等に従事し、人と動物の共生に関する研究・発展に貢献する人材
- エ 動物看護師の養成所（専修学校等）、動物病院、動物関連企業及び動物関連団体等に従事し、公衆衛生の教育・指導に貢献する人材
- オ 研究により身につけた論理的思考力をもって、発展するペット関連産業界（動物医療含む）に貢献する人材

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

令和元（2019）年6月21日に、農林水産省の「獣医師法」及び環境省の定める「動物の愛護及び管理に関する法律」という2つの法律を包括した両省による「愛玩動物看護師法」が法制化され、愛玩動物看護師は、獣医師とともに動物医療を支えることに加え、人と動物の共生社会に不可欠である動物の終生飼養等に関して、非常に重要な役割を担うことになった。

また、一般財団法人動物看護師統一認定機構において、全国の専修学校（2年制及び3年制）68校（令和2年〔2020年〕1月27日現在）（資料9）が認定動物看護師の受験資格を有しているが、愛玩動物看護師法では、愛玩動物看護師養成所（専修学校等）において、3年以上、愛玩動物看護師としての必要な知識及び技能を修得した者であることが受験資格となったことから、動物看護教育の養成所（専修学校等）においては、科学的な研究成果に裏付けられた高い専門知識を備えた教育・指導に貢献できる人材が必要とされる。

併せて、ヒトと動物の関係は、さまざまな自然環境が不可分に密接に関連しあっていることから、今後は、医学・獣医学の横断的な連携（ワンヘルス・アプローチ）が重要視される中でワンヘルス・アプローチの一翼を担う当事者として愛玩動物看護師の必要性が高まっている。

前述を踏まえ、本研究科修了生の人材需要を把握するために課程修了後の進路の大部分を占めると予想される動物病院及び動物関連企業・団体等を対象として、以下の採用動向の調査を行った。

アンケート調査は、令和2（2020）年1月から令和2（2020）年2月にかけて、本学園卒業生の就職先、並びに、本学園への求人票提供がある動物病院及び動物関連企業・団体等の合計1,645件に、設置構想中の本研究科の概要を記載したリーフレット（資料10）を同封したうえで、郵送による採用動向のアンケート調査（資料11）を実施した。

この結果、動物病院は275件（回答率：18.8%）、動物関連企業・団体等は50件（回答率：29.0%）の合計325件（回答率：19.7%）から回答を得ることができた（資料12）。

調査結果の概要は、以下のとおりである。

令和3（2021）年開設予定の本研究科への興味・関心については、回答を得た325件（動物病院及び動物関連企業・団体等から回答を得た合計数）のうち、「大いに興味・関心がある」が、35件（10.8%）、「興味・関心がある」が161件（49.5%）となり、回答数の半数以上が興味・関心があることが分かる（表5）。

表 5 本研究科修士課程への興味・関心

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. 大いに興味・関心がある	25 件 (9.1%)	10 件 (20.0%)	35 件 (10.8%)
2. 興味・関心がある	134 件 (48.7%)	27 件 (54.0%)	161 件 (49.5%)
3.あまり興味・関心がない	85 件 (30.9%)	9 件 (18.0%)	94 件 (28.9%)
4.全く興味・関心がない	20 件 (7.3%)	1 件 (2.0%)	21 件 (6.5%)
5.未定	11 件 (4.0%)	3 件 (6.0%)	14 件 (4.3%)
合 計	275 件 (100%)	50 件 (100%)	325 件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比

「興味・関心について(理由)」(複数回答可)を調査した結果、回答数 273 件(動物病院及び動物関連企業・団体等で回答を得た合計数)のうち、「高度で実践的知識を持つ人材が必要だから」が 132 件(48.4%)、次いで「愛玩動物看護師が国家資格化されたから」が 95 件(34.8%)と、愛玩動物看護師が国家資格化され、家族の一員であるコンパニオンアニマルを対象とする動物医療がますます高度化・専門化していく中で、高度医療を支える高度で実践的な知識を持つ人材が社会に求められていることが分かる(表 6)。

表 6 本研究科への興味・関心のある理由

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. 必要とする研究分野だから	14 件 (6.4%)	7 件 (12.7%)	21 件 (7.7%)
2. 高度で実践的知識を持つ 人材が必要だから	105 件 (48.2%)	27 件 (49.1%)	132 件 (48.4%)
3. ヤマザキ動物看護大学に 設置される大学院だから	16 件 (7.3%)	4 件 (7.3%)	20 件 (7.3%)
4.愛玩動物看護師が 国家資格化されたから	79 件 (36.3%)	16 件 (29.1%)	95 件 (34.8%)
5.その他	4 件 (1.8%)	1 件 (1.8%)	5 件 (1.8%)
合 計	218 件 (100%)	55 件 (100%)	273 件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比

さらに、「本学修士課程の修了者の採用について」調査した結果、回答を得た 325 件（動物病院及び動物関連企業・団体等から回答を得た合計数）のうち、「ぜひ採用したい」が 48 件（14.8%）あり、十分な人材需要があると言える。また、「採用を考える」が 129 件（39.7%）あり、有効回答数の半数以上が、採用又は採用を検討する意向があることが分かる（表 7）。

表 7 本学修士課程の修了者の採用について

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. ぜひ採用したい	42 件 (15.3%)	6 件 (12.0%)	48 件 (14.8%)
2. 採用を考える	105 件 (38.2%)	24 件 (48.0%)	129 件 (39.7%)
3. 採用は考えない	61 件 (22.2%)	7 件 (14.0%)	68 件 (20.9%)
4. 未定	56 件 (20.3%)	11 件 (22.0%)	67 件 (20.6%)
5. その他	11 件 (4.0%)	2 件 (4.0%)	13 件 (4.0%)
合 計	275 件 (100%)	50 件 (100%)	325 件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比

以上の調査結果から、今後ますます動物医療が高度化・専門化していく中で、高度動物医療を支える動物看護教育が求められており、併せて、動物病院及び動物関連企業・団体等の半数以上が採用意向を示していることから、本研究科修了生に対して、十分な就職先を確保できると考える。

資料目次

- 資料 1.一般社団法人日本動物保健看護系大学協会加盟大学一覧
- 資料 2-1.学校法人ヤマザキ学園山崎良壽記念奨学金支給規程
- 資料 2-2.学校法人ヤマザキ学園採用者（山崎良壽記念奨学金授与者）リスト
- 資料 3.大学院進学者一覧
- 資料 4-1.グラジュエイトプログラム卒業論文タイトル
- 資料 4-2.ヤマザキ動物看護短期大学専攻科生論文テーマ一覧
- 資料 5.ヤマザキ動物看護大学大学院修士課程「動物看護学研究科 2 年制」
「設置構想中（案）」リーフレット資料
- 資料 6-1.ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程に関するアンケート
調査票【学部学生（1～4 年次生）】
- 資料 6-2.ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程に関するアンケート
調査票【卒業生】
- 資料 7 ヤマザキ動物看護大学大学院「動物看護学研究科動物看護学専攻」
への進学意向に関するアンケート調査報告
- 資料 8.大学院の学生納付金比較表（一般社団法人日本動物保健看護系
大学協会加盟の 8 大学中 4 大学）
- 資料 9.動物看護師統一認定試験認定校一覧（専門学校）
- 資料 10.ヤマザキ動物看護大学大学院修士課程「動物看護学研究科 2 年制」
「設置構想中（案）」リーフレット資料（再掲）

資料 11.ヤマザキ動物看護大学大学院（修士課程）設置に関するアンケート
調査票（動物病院、動物関連企業・団体）

資料 12.ヤマザキ動物看護大学大学院「動物看護学研究科動物看護学専攻」
の採用意向に関するアンケート調査報告

一般社団法人日本動物保健看護系大学協会加盟大学一覧

は東京都に設置されている大学院

No.	大学					動物看護を養成する学部・学科を基礎にした大学院					備考		
	都道府県	大学名	学部名	学科	学位	都道府県	課程	研究科名	専攻名	学位		入学定員	取寄定員
1	北海道	酪農学園大学	獣医学部	獣医保健看護学類	学士(獣医保健看護学)	北海道	修士課程	獣医学研究科	獣医保健看護学専攻	修士(獣医保健看護学)	3	6	2
2	千葉県	千葉科学大学	危機管理学部	動物危機管理学科	学士(危機管理)	千葉県	修士課程	危機管理学研究科	危機管理学専攻	修士(危機管理学)	5	10	8
3	東京都	帝京科学大学	生命環境学部	アニマルサイエンス学科	学士(理学)	山梨県	修士課程	理工学研究科	アニマルサイエンス専攻	修士(アニマルサイエンス)	15	30	不明
4	東京都	日本獣医生命科学大学	獣医学部	獣医保健看護学科	学士(獣医保健看護学)	東京都	博士前期課程	獣医学研究科	獣医保健看護学専攻	修士(獣医保健看護学)	5	10	11
5	山口県	東亜大学	医療学部	医療工学科	学士(医療工学)	山口県	博士前期課程	総合学術研究科	医療科学専攻	修士(医療科学)	8	16	1
6	東京都	ヤマザキ動物看護大学	動物看護学部	動物看護学科	学士(動物看護学)								
7	岡山県	倉敷芸術科学大学	生命科学部	動物生命科学科	学士(動物生命科学)								
8	宮崎県	九州保健福祉大学	薬学部	動物生命薬科学科	学士(動物生命薬科学)								
-										合計	36	72	22

※在籍者数は令和元年5月1日現在

1 (書類等の題名)

学校法人ヤマザキ学園山崎良壽記念奨学金支給規程 (資料 2-1)

2 (出典)

学校法人ヤマザキ学園

3 (引用範囲)

「学校法人ヤマザキ学園山崎良壽記念奨学金支給規程」(学校法人ヤマザキ学園)

4 (その他の説明)

特になし

1 (書類等の題名)

学校法人ヤマザキ学園採用者(山崎良壽記念奨学金授与者)リスト(資料 2-2)

2 (出典)

学校法人ヤマザキ学園

3 (引用範囲)

「学校法人ヤマザキ学園採用者(山崎良壽記念奨学金授与者)リスト」(学校法人ヤマザキ学園)

4 (その他の説明)

- ・山崎良壽記念奨学金授与年度、氏名、卒業学校、勤務先を一覧としたが、個人情報保護のため、氏名を黒塗りにした。

1 (書類等の題名)

大学院進学者一覧 (資料 3)

2 (出典)

学校法人ヤマザキ学園

3 (引用範囲)

「大学院進学者一覧」(学校法人ヤマザキ学園)

4 (その他の説明)

- ・ヤマザキ学園大学(現ヤマザキ動物看護大学)を卒業後、大学院へ進学した卒業生及び社会人経験を経て大学院へ進学した卒業生について、大学卒業年度、氏名、進学先を一覧としたが、個人情報保護のため、氏名を黒塗りにした。

1 (書類等の題名)

グラジュエイトプログラム卒業論文タイトル (資料 4-1)

2 (出典)

学校法人ヤマザキ学園

3 (引用範囲)

「グラジュエイトプログラム卒業論文タイトル (第 1 期～第 13 期生)」(学校法人ヤマザキ学園)

4 (その他の説明)

- ・ヤマザキ動物専門学校を卒業後、グラジュエイトプログラム (1 年制) へ進学した学生について、入学期、卒業年度、氏名、論文タイトルを一覧としたが、個人情報保護のため、氏名を黒塗りにした。

1 (書類等の題名)

ヤマザキ動物看護短期大学専攻科生論文テーマ一覧 (資料 4-2)

2 (出典)

学校法人ヤマザキ学園

3 (引用範囲)

「ヤマザキ動物看護短期大学専攻科生論文テーマ一覧」(学校法人ヤマザキ学園)

4 (その他の説明)

- ・ヤマザキ動物看護短期大学を卒業後、専攻科(1年制)へ進学した学生について、卒業年度ごとに氏名、論文タイトルを一覧としたが、個人情報保護のため、氏名を黒塗りにした。



ヤマザキ動物看護大学 大学院

大学院修士課程「動物看護学研究科 2年制」

設置構想中(案)

掲載の内容は予定(案)であり変更になる場合があります。

大学院 修士課程の概要

■大学院名称 ヤマザキ動物看護大学 大学院

■研究科・専攻・分野構成及び定員

研究科	専攻	領域	就業年限	入学時期	入学定員	学位
動物看護学研究科	動物看護学専攻	動物看護学領域 動物人間関係学領域	2年制	4月	5名	修士 (動物看護学)

■開学時期 2021(令和3)年 4月 開設予定

大学院 修士課程の経緯及び目的

学校法人ヤマザキ学園は創立53年を迎え、創立以来、建学の精神に「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を掲げ、ヒトと動物の平和で豊かな共生社会をめざし、動物看護教育のパイオニアとして教育・研究に邁進してきました。

この度、ヤマザキ動物看護大学大学院は1兆5千億円の市場規模と言われる動物医療を含むペット関連産業を背景に多様化する職域に応えて、高度な知識と研究能力を備えた先端動物看護及びペット関連産業において One Health の時代に活躍する人材を養成します。

大学院 修士課程の特色

令和元年6月には「愛玩動物看護師法」が農林水産省・環境省の両省による国家資格として法制化されました。愛玩動物看護師は、獣医師のパートナーとして高度化する動物医療を支えるばかりでなく、「動物の愛護及び管理に関する法律」のもと、ヒトと動物の共生社会における公衆衛生、終生飼養や環境整備等、成長する動物関連産業において、多岐にわたる分野での活躍が期待されています。

そのことから、本大学院修士課程では、動物看護学部において取得した学士(動物看護学)の学位を基に「動物看護学領域」及び「動物人間関係学領域」の2つの専門性の高い領域を包括することを教育の特色としました。

養成する人材像 動物看護学領域と動物人間関係学領域の2領域

<p>動物看護学領域</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先端動物看護学分野の研究に携わり、動物病院等で従事する愛玩動物看護師として、高度動物医療の発展に貢献できる人材 ・ 動物解剖生理学・動物病理学分野の研究に携わり、愛玩動物看護師の養成教育機関（専門学校等）における学生教育・指導の発展に貢献できる人材
<p>動物人間関係学領域</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒトと動物に関連する公衆衛生学分野の研究に携わり、関連産業等の未来、ヒトと動物の共生に貢献できる人材 ・ 愛玩動物の特性の研究に携わり、生命倫理を踏まえ、動物愛護・福祉団体並びに関連企業等においてヒトと動物の共生社会構築に貢献できる人材

愛玩動物看護師を養成する学部を基礎とする大学院

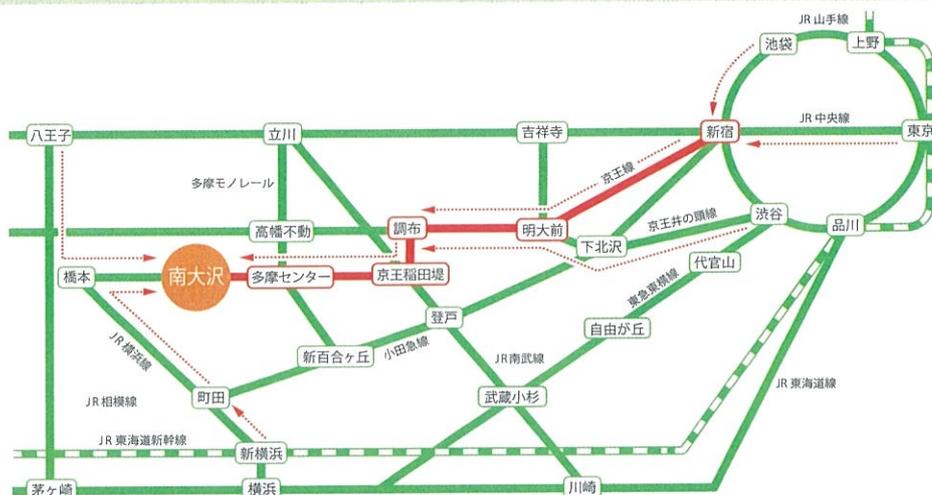
都道県名	大学院名 研究科・専攻名	入学金	授業料 (実験演習費等を含む)	施設・維持費	初年度納付金 (2年間の納付金)
東京	ヤマザキ動物看護大学大学院 (開設予定) 動物看護学研究科 動物看護学専攻	免除※	800,000円	150,000円	950,000円 (1,900,000円)
東京	日本獣医生命科学大学大学院 獣医生命科学研究科 獣医保健看護系専攻	200,000円	830,000円	—	1,030,000円 (1,860,000円)
北海道	酪農学園大学大学院 獣医学研究科 獣医保健看護学専攻	140,000円	705,000円	—	845,000円 (1,550,000円)
山梨	帝京科学大学大学院 理工学研究科 アニマルサイエンス専攻	310,000円	970,000円	240,000円	1,520,000円 (2,730,000円)
千葉	千葉科学大学大学院 危機管理学研究科 危機管理学専攻	200,000円	800,000円	150,000円	1,150,000円 (2,100,000円)

※学校法人ヤマザキ学園の卒業生は15万円の入学金を免除します。

メインキャンパス

■ 南大沢キャンパス

東京都八王子市南大沢 4-7-2
京王相模原線
「南大沢駅」徒歩10分



開設予定の大学院に関するお問い合わせ先

学校法人ヤマザキ学園 大学院設置準備室

東京都八王子市南大沢 4-7-2 / TEL 042-689-5254 (代表)

学部学生(1年次生)

ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程設置に関するアンケート調査票

大学開学10年を迎え、また、「愛玩動物看護師」の法制化に伴い、令和3年4月を目標として、大学院修士課程(動物看護学研究科・2年制)の設置を構想中です。この修士課程は動物看護学領域と動物人間関係学領域からなり、高度な知識と研究能力を備えた動物医療を含むペット関連産業界で活躍する愛玩動物看護師及び指導者となる人材の養成を目指します。文部科学省への申請準備にあたり、在学生の皆様のご意見をいただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、申請書の統計資料としてのみ用い、外部に公開することはありません。

リーフレット(資料)を読んだ後、以下の質問にお答えください。

各設問の回答は、該当番号に丸をつけてください。

問1～問6はそれぞれ1つ回答、問7は複数回答可です。

問1 2年次進級に際し、あなたはどちらの専攻を選ぶ予定ですか。

- 1 動物看護学専攻 2 動物人間関係学専攻

問2 あなたの性別についておたずねします。

- 1 女性 2 男性

問3 他大学には大学院修士課程が設置されています。このたびの本学大学院修士課程設置構想についてどう思われますか。

- 1 賛成する
2 反対する
3 どちらでもない

問4 本学が構想中の大学院修士課程について関心がありますか。

- 1 興味・関心がある
2 あまり興味・関心がない
3 どちらでもない

問5 本学の大学院修士課程に進学したいと思いますか。

- 1 本学学部卒業時、進学したい
2 社会人経験等を経てから進学をしたい
3 本学修士課程への進学は考えていない
4 現在は未定

問6 本学の大学院修士課程の「動物看護学領域」と「動物人間関係学領域」のどちらに興味がありますか。

- 1 動物看護学領域
- 2 動物人間関係学領域
- 3 現在は未定

問7 本学の大学院修士課程に進学したらどのような研究をしたいと思いますか。
(複数回答可)

5を選んだ場合は、研究したい分野を〔 〕内に入れてください。

- 1 動物解剖生理学・病理学分野
- 2 先端動物看護学分野
- 3 人と動物の公衆衛生学分野
- 4 アニマルセラピー・ペットロス・イヌの特性等の分野
- 5 その他研究したい分野

〔 〕

問8 ヤマザキ動物看護大学大学院修士課程の構想について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程設置に関するアンケート調査票

大学開学10年を迎え、また、「愛玩動物看護師」の法制化に伴い、令和3年4月を目標として、大学院修士課程(動物看護学研究科・2年制)の設置を構想中です。この修士課程は動物看護学領域と動物人間関係学領域からなり、高度な知識と研究能力を備えた動物医療を含むペット関連産業界で活躍する愛玩動物看護師及び指導者となる人材の養成を目指します。文部科学省への申請準備にあたり、在学生の皆様のご意見をいただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、申請書の統計資料としてのみ用い、外部に公開することはありません。

リーフレット(資料)を読んだ後、以下の質問にお答えください。

各設問の回答は、該当番号に丸をつけてください。

問1～問6はそれぞれ1つ回答、問7は複数回答可です。

問1 あなたの所属する専攻はどちらですか。

- 1 動物看護学専攻 2 動物人間関係学専攻

問2 あなたの性別についておたずねします。

- 1 女性 2 男性

問3 他大学には大学院修士課程が設置されています。このたびの本学大学院修士課程設置構想についてどう思われますか。

- 1 賛成する
2 反対する
3 どちらでもない

問4 本学が構想中の大学院修士課程について関心がありますか。

- 1 興味・関心がある
2 あまり興味・関心がない
3 どちらでもない

問5 本学の大学院修士課程に進学したいと思いますか。

- 1 本学学部卒業時、進学したい
2 社会人経験等を経てから進学をしたい
3 本学修士課程への進学は考えていない
4 現在は未定

問6 本学の大学院修士課程の「動物看護学領域」と「動物人間関係学領域」のどちらに興味がありますか。

- 1 動物看護学領域
- 2 動物人間関係学領域
- 3 現在は未定

問7 本学の大学院修士課程に進学したらどのような研究をしたいと思いますか。
(複数回答可)

5を選んだ場合は、研究したい分野を〔 〕内書き入れてください。

- 1 動物解剖生理学・病理学分野
- 2 先端動物看護学分野
- 3 人と動物の公衆衛生学分野
- 4 アニマルセラピー・ペットロス・イヌの特性等の分野
- 5 その他研究したい分野

〔 〕

問8 ヤマザキ動物看護大学大学院修士課程の構想について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程設置に関するアンケート調査票

大学開学 10 年を迎え、また、「愛玩動物看護師」の法制化に伴い、令和 3 年 4 月を目標として、大学院修士課程（動物看護学研究科・2 年制）の設置を構想中です。この修士課程は動物看護学領域と動物人間関係学領域からなり、高度な知識と研究能力を備えた動物医療を含むペット関連産業界で活躍する愛玩動物看護師及び指導者となる人材の養成を目指します。文部科学省への申請準備にあたり、在学生の皆様のご意見をいただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、申請書の統計資料としてのみ用い、外部に公開することはありません。

リーフレット（資料）を読んだ後、以下の質問にお答えください。

問 1～問 7 について、各設問の回答は、該当番号に丸をつけてください。

問 1～問 6、問 9 はそれぞれ 1 つ回答、問 7 は複数回答可です。

問 8、問 10 は記述してください。

問 1 あなたの所属する専攻はどちらですか。

- 1 動物看護学専攻 2 動物人間関係学専攻

問 2 あなたの性別についておたずねします。

- 1 女性 2 男性

問 3 他大学には大学院修士課程が設置されています。このたびの本学大学院修士課程設置構想についてどう思われますか。

- 1 賛成する
2 反対する
3 どちらでもない

問 4 本学が構想中の大学院修士課程について関心がありますか。

- 1 興味・関心がある
2 あまり興味・関心がない
3 どちらでもない

問 5 本学の大学院修士課程に進学したいと思いますか。

- 1 本学学部卒業時、進学したい
2 社会人経験等を経てから進学をしたい
3 本学修士課程への進学は考えていない
4 現在は未定

問6 本学の大学院修士課程の「動物看護学領域」と「動物人間関係学領域」のどちらに興味がありますか。

- 1 動物看護学領域
- 2 動物人間関係学領域
- 3 現在は未定

問7 本学の大学院修士課程に進学したらどのような研究をしたいと思いますか。
(複数回答可)

5を選んだ場合は、研究したい分野を〔 〕内に書き入れてください。

- 1 動物解剖生理学・病理学分野
- 2 先端動物看護学分野
- 3 人と動物の公衆衛生学分野
- 4 アニマルセラピー・ペットロス・イヌの特性等の分野
- 5 その他研究したい分野

〔 〕

問8 卒業論文執筆のために所属している研究室はどちらですか。

〔 〕

問9 他大学の大学院修士課程への進学を考えていますか。

- 1 考えている (希望する分野: _____)
- 2 考えていない
- 3 現在は未定

問10 ヤマザキ動物看護大学大学院修士課程の構想について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程設置に関するアンケート調査票

大学開学10年を迎え、また、「愛玩動物看護師」の法制化に伴い、令和3年4月を目標として、大学院修士課程(動物看護学研究科・2年制)の設置を構想中です。この修士課程は動物看護学領域と動物人間関係学領域からなり、高度な知識と研究能力を備えた動物医療を含むペット関連産業界で活躍する愛玩動物看護師及び指導者となる人材の養成を目指します。文部科学省への申請準備にあたり、在学生の皆様のご意見をいただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、申請書の統計資料としてのみ用い、外部に公開することはありません。

リーフレット(資料)を読んだ後、以下の質問にお答えください。

問1～問7について、各設問の回答は、該当番号に丸をつけてください。

問1～問6、問9はそれぞれ1つ回答、問7は複数回答可です。

問8、問10は記述してください。

問1 あなたの所属する専攻はどちらですか。

- 1 動物看護学専攻 2 動物人間関係学専攻

問2 あなたの性別についておたずねします。

- 1 女性 2 男性

問3 他大学には大学院修士課程が設置されています。このたびの本学大学院修士課程設置構想についてどう思われますか。

- 1 賛成する
2 反対する
3 どちらでもない

問4 本学が構想中の大学院修士課程について関心がありますか。

- 1 興味・関心がある
2 あまり興味・関心がない
3 どちらでもない

問5 本学の大学院修士課程に進学したいと思いますか。

- 1 本学卒業後、社会人経験等を経てから進学をしたい
2 本学修士課程への進学は考えていない
3 現在は未定

問6 本学の大学院修士課程の「動物看護学領域」と「動物人間関係学領域」のどちらに興味がありますか。

- 1 動物看護学領域
- 2 動物人間関係学領域
- 3 現在は未定

問7 本学の大学院修士課程に進学したらどのような研究をしたいと思いますか。
(複数回答可)

5を選んだ場合は、研究したい分野を〔 〕内に書き入れてください。

- 1 動物解剖生理学・病理学分野
- 2 先端動物看護学分野
- 3 人と動物の公衆衛生学分野
- 4 アニマルセラピー・ペットロス・イヌの特性等の分野
- 5 その他研究したい分野

〔 〕

問8 卒業論文執筆のために所属している研究室はどちらですか。

〔 〕

問9 他大学の大学院修士課程への進学を考えていますか。

- 1 考えている (希望する分野: _____)
- 2 考えていない
- 3 現在は未定

問10 ヤマザキ動物看護大学大学院修士課程の構想について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

【卒業生各位】

ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程設置に関するアンケート調査票

学校法人ヤマザキ学園は、ヤマザキ動物看護大学の開学 10 周年を迎え、「愛玩動物看護師」の法制化に伴い、令和 3 年 4 月の開学を目指して、大学院修士課程（動物看護学研究科・2 年制）の設置を構想中です。この修士課程は、「動物看護学領域」と「動物人間関係学領域」の 2 領域から構成され、愛玩動物看護師養成機関において指導者となる人材やペット関連産業界（動物医療を含む）で人と動物の共生に貢献できる人材を養成します。文部科学省への申請準備にあたり、卒業生のご意見をいただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、申請書の統計資料としてのみ用い、外部に公開することはありません。

※同封のリーフレット（資料）を読んだ後、以下の質問にお答えください。

問1 あなたの卒業した学校名、卒業年、学位（複数選択可）、職業を教えてください。

(1)卒業校名： _____ (2)卒業年： 西暦 _____ 年卒業

(3)学 位： 1. 専門士 2. 短期大学士 3. 学士 4. 修士 5. 博士

(4)職 業： ①現 職 (_____)
②過去の動物関連の職業 (_____)

問2 あなたの性別についておたずねします。 1. 女性 2. 男性

問3 本学の大学院修士課程について関心がありますか。 どれか1つに○をつけてください。

1. 興味・関心がある 2. あまり興味・関心がない 3. どちらでもない

※問4～問6は、問1で「3. 学士」「4. 修士」「5. 博士」を選択した方のみがお答えください。

問4 社会人入学制度を利用して、本学の大学院修士課程に進学したいと思いますか。

あてはまるもの どれか1つに○をつけてください。

1. 進学したい →問5へ 2. 進学は考えていない →問7へ 3. 未定 →問7へ

問5 問4で「1. 進学したい」を選択した方におたずねします。

本学の大学院修士課程の「動物看護学領域」と「動物人間関係学領域」のどちらに興味がありますか。 どれか1つに○をつけてください。

1. 動物看護学領域 2. 動物人間関係学領域 3. 現在は未定

問6 本学の大学院修士課程で何の研究をしたいと思いますか。（複数回答可）

「5. その他」を選んだ場合は、研究したい分野についてカッコ内にお書きください。

1. 動物解剖生理学・病理学分野
2. 先端動物看護学分野
3. 人と動物の公衆衛生学分野
4. アニマルセラピー・ペットロス・イヌの特性等の分野
5. その他 (_____)

問7 ヤマザキ動物看護大学大学院修士課程の構想について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。返信用封筒にて、ご返送ください。

ヤマザキ動物看護大学大学院「動物看護学研究科動物看護学専攻」への
進学意向に関するアンケート調査報告

1.調査の概要

(1) 調査目的

令和3(2021)年4月設置予定である「ヤマザキ動物看護大学大学院動物看護学研究科動物看護学専攻」(以下、本研究科という)への在學生及び卒業生の進学意向について把握することを目的とする。

(2) 調査対象及び回答率等

調査対象 1,497 人のうち、基礎となる学部のヤマザキ動物看護大学動物看護学部在學生は、700 人(令和元(2019)年12月16日(月)現在)、ヤマザキ動物看護大学動物看護学部(旧:ヤマザキ学園大学)卒業生は、797 人である。有効回答率は、在學生が77.1%、卒業生が9.7%であった。

(表1)

区分	年次	調査対象者	回答者(回答率)
在學生	1	210 人	192 人(91.4%)
	2	173 人	143 人(82.7%)
	3	162 人	115 人(71.0%)
	4	155 人	90 人(58.1%)
	小計	700 人	540 人(77.1%)
卒業生(動物看護学部)		797 人	77 人(9.7%)
合計		1,497 人	617 人(41.2%)

(3) 調査方法

[在學生]

- ① ヤマザキ動物看護大学動物看護学部に所属する學生、計700人に対し、本研究科の概要(リーフレット)及びアンケート調査票を配布し、アンケート用紙に回答する方法により実施した。

[卒業生]

- ② ヤマザキ動物看護大学(旧:ヤマザキ学園大学)を卒業した、計797人に対し、本研究科の概要(リーフレット)及びアンケート調査票を送付し、アンケート結果を回収した。

(4) 調査期間

令和元(2019)年12月～令和2(2020)年1月

2.各質問項目別のアンケート結果

在学生1～4年次へのアンケート結果及び卒業生のアンケート結果（主要項目）を集計し分析した。なお、同一の質問で、各年次生・卒業生ごとに質問番号が異なる場合は、まとめて集計表を作成し分析した。その際には、各年次生・卒業生の質問番号を記載した。さらにその他の質問については、この調査結果報告の最後（まとめの後）に記載した。

(1) 設置構想への賛否について

対 象：在学生1～4年次生（卒業生なし）

調査票の質問番号：すべての年次で「問3」

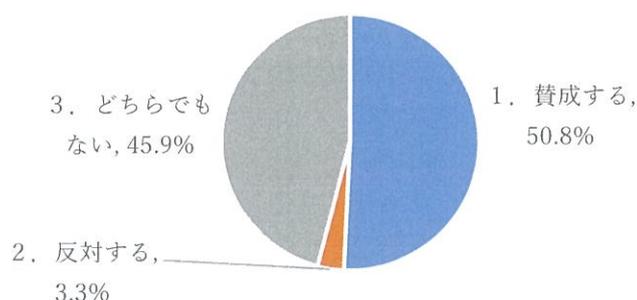
質問内容：「他大学には大学院修士課程が設置されています。このたびの本学大学院修士課程設置構想についてどう思われますか。」

本研究科の設置構想について調査した結果、回答者540人のうち、「賛成する」が274人（50.8%）であり、設置構想へ賛成する意見が半数を超えている。「反対する」は、全体で18人（3.3%）と少数であることから、設置構想の賛同が多い。また、各年次において、「賛成する」「どちらでもない」が多く、「反対する」は非常に少ない。

回 答	1年次	2年次	3年次	4年次	合 計
1.賛成する	130人 (67.7%)	61人 (42.7%)	46人 (40.0%)	37人 (41.1%)	274人 (50.8%)
2.反対する	1人 (0.5%)	8人 (5.6%)	6人 (5.2%)	3人 (3.3%)	18人 (3.3%)
3.どちらでもない	61人 (31.8%)	74人 (51.7%)	63人 (54.8%)	50人 (55.6%)	248人 (45.9%)
合 計	192人 (100%)	143人 (100%)	115人 (100%)	90人 (100%)	540人 (100%)

(注) %は、各年次の構成比

大学院設置構想の賛否



(2) 興味・関心について

対 象：在學生 1～4 年次生、卒業生

調査票質問番号：在學生「問 4」、卒業生「問 3」

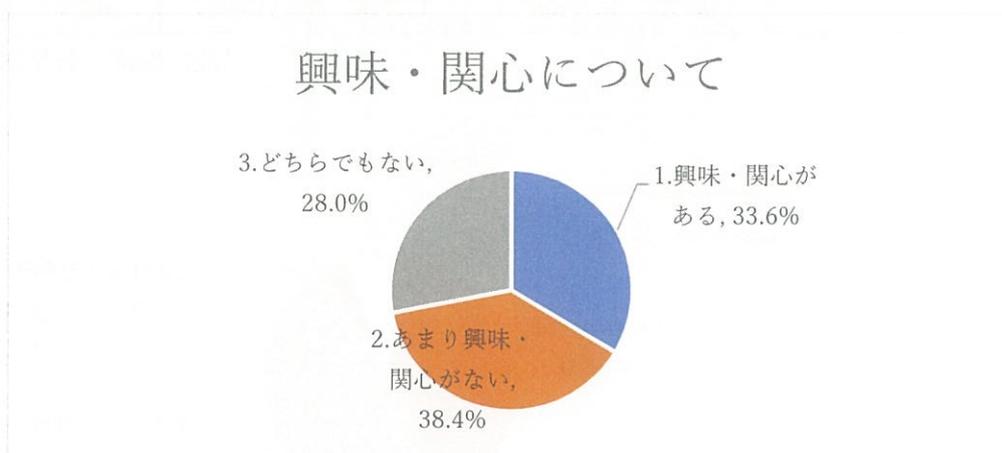
質問内容：「本学が構想中の大学院修士課程について関心がありますか。」

本研究科への興味・関心について調査した結果、回答者 617 人のうち、「興味・関心がある」が 207 人 (33.6%) で、全体の約 3 分の 1 の在學生・卒業生が興味を持っている。

進学対象となる 3 年次生は 38 人 (33.0%)、卒業生は 30 人 (39.0%) であり、3 年次生・卒業生それぞれにおいて約 3 分の 1 が関心を持っており、在學生・卒業生全体的に同様の傾向である。

回 答	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業生	合 計
1.興味・関心がある	80 人 (41.7%)	42 人 (29.4%)	38 人 (33.0%)	17 人 (18.9%)	30 人 (39.0%)	207 人 (33.6%)
2.あまり興味・関心がない	53 人 (27.6%)	51 人 (35.6%)	51 人 (44.4%)	48 人 (53.3%)	34 人 (44.1%)	237 人 (38.4%)
3.どちらでもない	59 人 (30.7%)	50 人 (35.0%)	26 人 (22.6%)	25 人 (27.8%)	13 人 (16.9%)	173 人 (28.0%)
合 計	192 人 (100%)	143 人 (100%)	115 人 (100%)	90 人 (100%)	77 人 (100%)	617 人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比



(3) 本研究科への進学について

対 象：在學生 1～4 年次生、卒業生

調査票の質問番号：在學生「問 5」、卒業生「問 4」

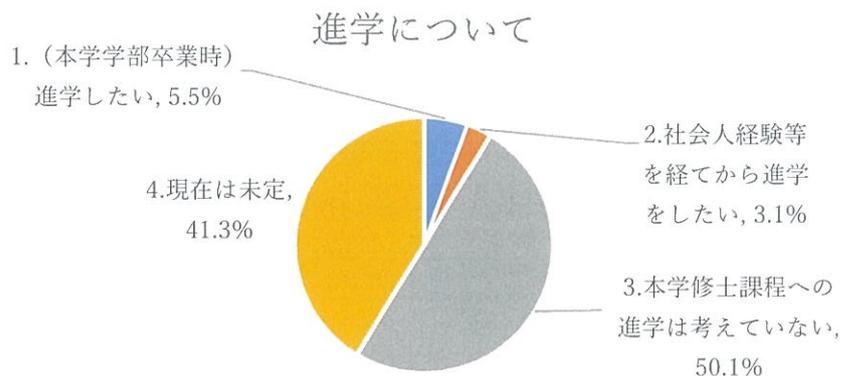
質 問：「本学の大学院修士課程に進学したいと思いますか。」

本研究科への進学希望については、進学対象となる 3 年次生 4 人、卒業生が 7 人と、入学定員 5 人対して、その 2 倍以上となる 11 人が進学を希望している。

また、将来の進学対象となる 1・2 年次生については、「(本学学部卒業時) 進学したい」が、それぞれ 18 人と 5 人、同じく将来の進学対象となる 4 年次生については、「社会人経験等を経てから進学をしたい」が 4 人と合計 27 人いることから、将来的にも継続的な入学者を期待できる。

回 答	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業生	合 計
1. (本学学部卒業時) 進学したい	18 人 (9.4%)	5 人 (3.5%)	4 人 (3.5%)	—	7 人 (9.1%)	34 人 (5.5%)
2. 社会人経験等を経てから進学をしたい	4 人 (2.1%)	2 人 (1.4%)	9 人 (7.8%)	4 人 (4.4%)	—	19 人 (3.1%)
3. 本学修士課程への進学は考えていない	66 人 (34.4%)	74 人 (51.7%)	55 人 (47.8%)	69 人 (76.7%)	45 人 (58.4%)	309 人 (50.1%)
4. 現在は未定	104 人 (54.1%)	62 人 (43.4%)	47 人 (40.9%)	17 人 (18.9%)	25 人 (32.5%)	255 人 (41.3%)
合 計	192 人 (100%)	143 人 (100%)	115 人 (100%)	90 人 (100%)	77 人 (100%)	617 人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比



(4) 興味のある領域について

対 象：在学生 1～4 年次生、卒業生

調査票の質問番号：在学生「問 6」、卒業生「問 5」

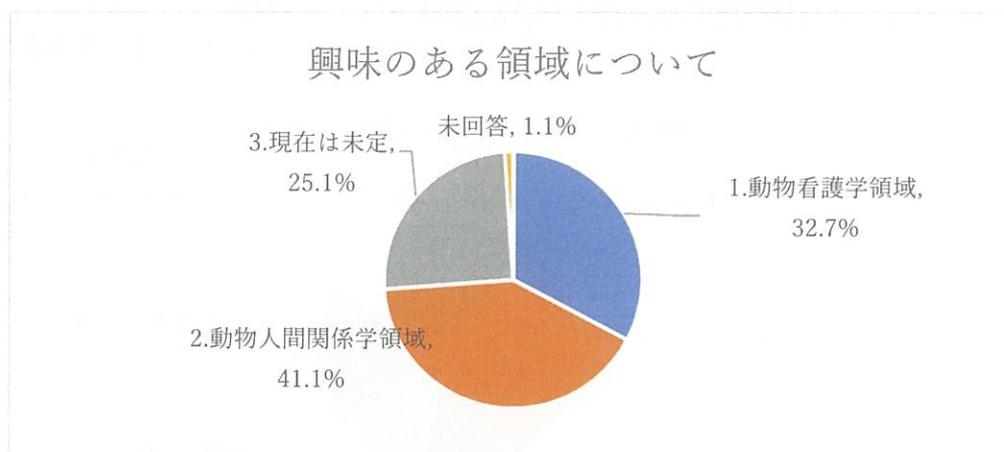
質問内容：「本学の大学院修士課程の「動物看護学領域」と「動物人間関係学領域」のどちらに興味がありますか。」

本研究科の「動物看護学領域」と「動物人間関係学領域」への興味について調査した結果、回答者 547 人（在学生 540 人・卒業生 7 人 ※卒業生は、本研究科に進学したいと回答した人のみ対象）のうち、「動物看護学領域」が、179 人（32.7%）、「動物人間関係学領域」が 225 人（41.1%）となっている。

進学対象となる 3 年次生は、「動物看護学領域」が 32 人（27.8%）、「動物人間関係学領域」が 56 人（48.7%）、卒業生は、「動物看護学領域」が 3 人（42.9%）、「動物人間関係学領域」が 4 人（57.1%）となっていて、若干、動物人間関係学領域に興味を持つ学生が多い。

回 答	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	卒業生	合 計
1.動物看護学領域	83 人 (43.2%)	35 人 (24.5%)	32 人 (27.8%)	26 人 (28.9%)	3 人 (42.9%)	179 人 (32.7%)
2.動物人間関係学領域	66 人 (34.4%)	60 人 (42.0%)	56 人 (48.7%)	39 人 (43.3%)	4 人 (57.1%)	225 人 (41.1%)
3.現在は未定	40 人 (20.8%)	47 人 (32.9%)	25 人 (21.7%)	25 人 (27.8%)	0 人 (0%)	137 人 (25.1%)
未回答	3 人 (1.6%)	1 人 (0.6%)	2 人 (1.8%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	6 人 (1.1%)
合 計	192 人 (100%)	143 人 (100%)	115 人 (100%)	90 人 (100%)	7 人 (100%)	547 人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比



(5) 興味のある研究分野について

対 象：在学生 1～4 年次生、卒業生

調査票の質問番号：在学生「問 7」、卒業生「問 6」

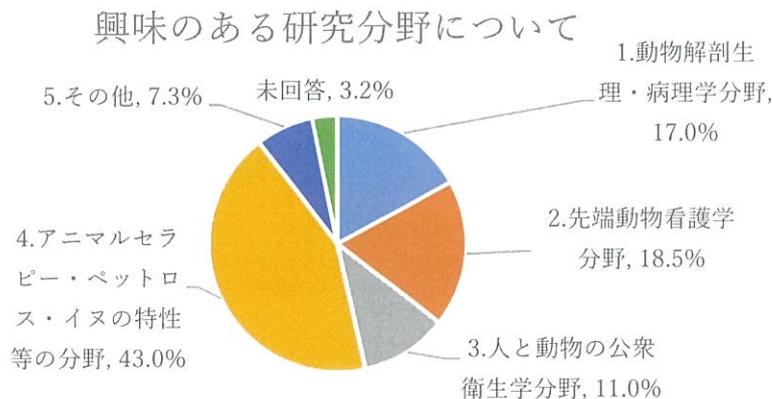
質問内容：「本学の大学院修士課程で何の研究をしたいと思いますか。(複数回答可)」

本研究科に進学した場合、研究したい分野について調査した結果、回答者 693 人（複数回答可のため、のべ在学生 682 人・卒業生 11 人 ※卒業生は、本研究科に進学したいと回答した人のみ対象）のうち、「アニマルセラピー・ペットロス・イヌの特性等の分野」が 298 人（43.0%）と最も多く、次いで「先端動物看護学分野」128 人（18.5%）、「動物解剖生理・病理学分野」118 人（17.0%）、「人と動物の公衆衛生学分野」76 人（11.0%）の順になっており、「アニマルセラピー・ペットロス・イヌの特性等の分野」に興味を持つ者が多い。

入学対象となる 3 年次生でも同様の結果だが、卒業生については「動物解剖生理・病理学分野」が 4 人（36.3%）であり、最も興味を持つ者が多かった。

回 答	1 年次生	2 年次生	3 年次生	4 年次生	卒業生	合 計
1.動物解剖生理・病理学分野	49 人 (20.1%)	35 人 (18.1%)	19 人 (14.2%)	11 人 (9.9%)	4 人 (36.3%)	118 人 (17.0%)
2.先端動物看護学分野	59 人 (24.2%)	26 人 (13.5%)	24 人 (17.9%)	16 人 (14.4%)	3 人 (27.3%)	128 人 (18.5%)
3.人と動物の公衆衛生学分野	26 人 (10.7%)	24 人 (12.4%)	15 人 (11.2%)	10 人 (9.0%)	1 人 (9.1%)	76 人 (11.0%)
4.アニマルセラピー・ペットロス・イヌの特性等の分野	93 人 (38.1%)	89 人 (46.1%)	62 人 (46.3%)	51 人 (46.0%)	3 人 (27.3%)	298 人 (43.0%)
5.その他	13 人 (5.3%)	15 人 (7.8%)	7 人 (5.2%)	16 人 (14.4%)	0 人 (0%)	51 人 (7.3%)
未回答	4 人 (1.6%)	4 人 (2.1%)	7 人 (5.2%)	7 人 (6.3%)	0 人 (0%)	22 人 (3.2%)
合 計	244 人 (100%)	193 人 (100%)	134 人 (100%)	111 人 (100%)	11 人 (100%)	693 人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比



(6) 他大学大学院修士課程への進学について

対 象：3・4年次生（在學生1・2年次生、卒業生なし）

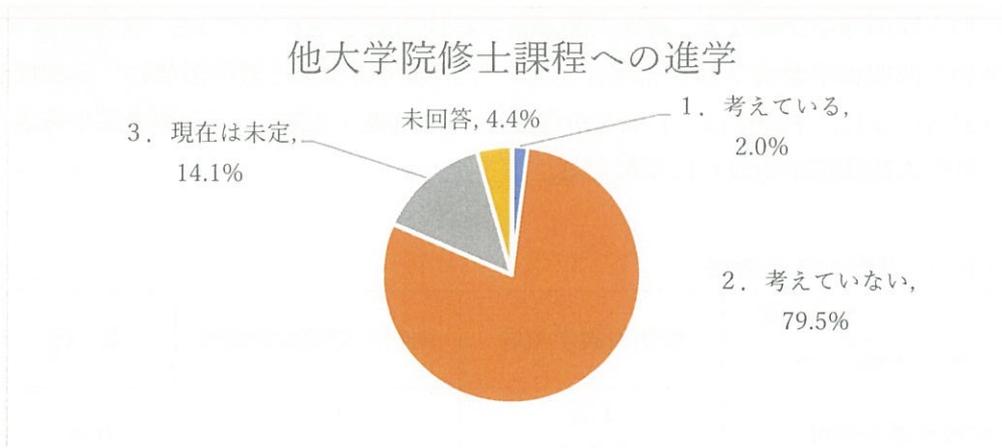
調査票の質問番号：在學生「問9」

質問内容：「他大学の大学院修士課程への進学を考えていますか。」

他大学大学院修士課程への進学について調査した結果、回答者205人（3・4年次生のみ）のうち、「考えている」が4人（2.0%）おり、大学院修士課程への進学意向がある学生が少なからずいる。

回 答	3年次生	4年次生	合 計
1.考えている	3 (2.6%)	1 (1.1%)	4 (2.0%)
2.考えていない	85 (73.9%)	78 (86.7%)	163 (79.5%)
3.現在は未定	22 (19.1%)	7 (7.8%)	29 (14.1%)
未回答	5 (4.4%)	4 (4.4%)	9 (4.4%)
合 計	115 (100%)	90 (100%)	205 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比



3. アンケート調査結果まとめ（主要項目）

「2.結果」(P4)の「(3) 本研究科への進学について」の回答結果(表2)によると、設置予定年度である令和3(2021)年4月入学対象者のうち、本研究科へ「進学したい」と回答した回答者は、11人(3年次生:4人、卒業生7人)いることが分かる。上記から、本研究科の入学定員5人に対して約2倍の進学希望者がいる。

(表2) 本研究科への進学について

回 答	3年次生	卒業生	合 計
1.進学したい	4人 (3.5%)	7人 (9.1%)	11人 (5.7%)
2.社会人経験等を経てから進学をしたい	9人 (7.8%)	-	9人 (4.7%)
3.本学修士課程への進学は考えていない	55人 (47.8%)	45人 (58.4%)	100人 (52.1%)
4.現在は未定	47人 (40.9%)	25人 (32.5%)	72人 (37.5%)
合 計	115人 (100%)	77人 (100%)	192人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比

また、「進学したい」「社会人経験等を経てから進学をしたい」と回答した3年次生13人の興味領域を調査した結果、動物看護学専攻所属学生4人のうち、動物看護学領域4人・動物人間関係学領域0人、動物人間関係学専攻所属学生9人のうち、動物看護学領域1人・動物人間関係学領域7人・未定1人と、学生の所属専攻と興味領域は、ほぼ同じである。

(表3) なお、学部生は、1年次から2年次に進級する際に、「動物看護学専攻」もしくは「動物人間関係学専攻」に所属する。

(表3) 興味のある領域

興味領域 学生との所属	動物看護学領域	動物人間関係学領域	未 定	合 計
動物看護学専攻	4人 (80%)	0人 (0%)	0人	4人 (30.8%)
動物人間関係学専攻	1人 (20%)	7人 (100%)	1人 (100%)	9人 (69.2%)
合 計	5人 (100%)	7人 (100%)	1人 (100%)	13人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比

併せて、「2.結果」(P4)の「(3) 本研究科への進学について」から、1・2年次生及び4年次生においては、本研究科へ「進学したい」と回答した回答者が23人いる。

以上の調査結果と、「社会人経験等を経てから進学をしたい」と回答した回答者が3年次

生 9 人、1・2 年次生及び 4 年次生 10 人の計 19 人いることから、継続的な入学者が期待できる。

4. その他のアンケート結果

主要なアンケート項目については、「2.各質問項目別のアンケート結果」で集計・分析しているが、その他の項目については、以下にまとめた。

(1) 性別について

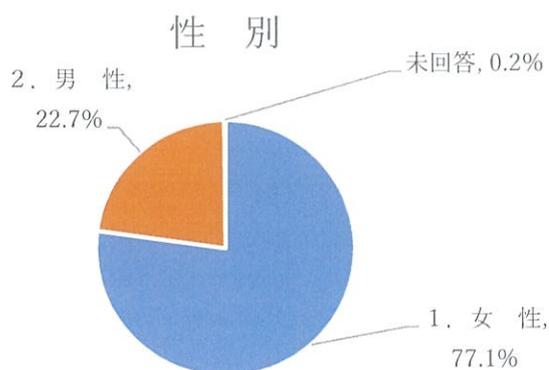
対 象：在學生 1～4 年次生、卒業生

調査票の質問番号：在學生・卒業生「問 2」

質問内容：「あなたの性別についておたずねします。」

回 答	1 年次生	2 年次生	3 年次生	4 年次生	卒業生	合 計
1.女 性	157 人 (81.8%)	110 人 (76.9%)	91 人 (79.1%)	55 人 (61.1%)	63 人 (81.8%)	476 人 (77.1%)
2.男 性	35 人 (18.2%)	32 人 (22.4%)	24 人 (20.9%)	35 人 (38.9%)	14 人 (18.2%)	140 人 (22.7%)
未回答	0 人 (0%)	1 人 (0.7%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	1 人 (0.2%)
合 計	192 人 (100%)	143 人 (100%)	115 人 (100%)	90 人 (100%)	77 人 (100%)	617 人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比



(2) 所属専攻について

対 象：在学生 1～4 年次生（卒業生なし）

調査票の質問番号：在学生「問 1」

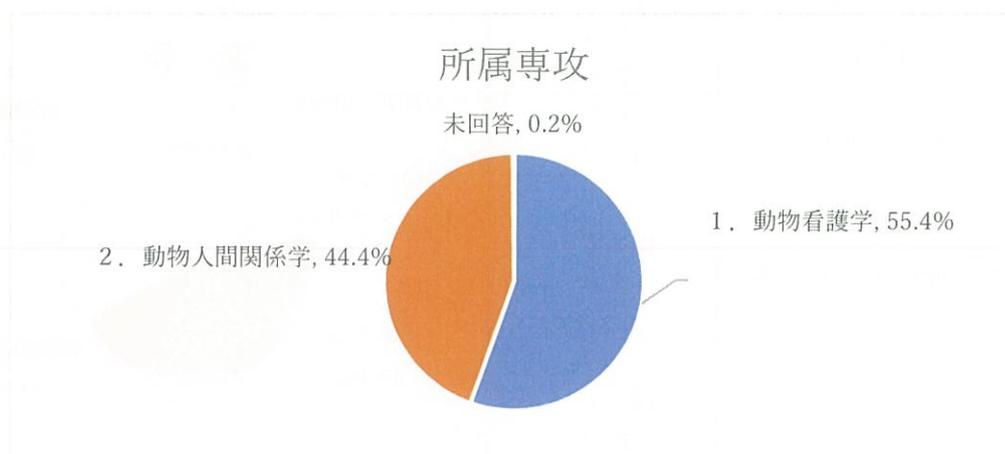
質問内容：「あなたの所属する専攻はどちらですか。」

※2 年次生から専攻に分かれるため、1 年次生のみ希望専攻を調査

1 年次生：「2 年次進級に際し、あなたはどちらの専攻を選ぶ予定ですか。」

回 答	1 年次生	2 年次生	3 年次生	4 年次生	合 計
1.動物看護学	129 人 (67.2%)	76 人 (53.1%)	48 人 (41.7%)	46 人 (51.1%)	299 人 (55.4%)
2.動物人間関係学	63 人 (32.8%)	66 人 (46.2%)	67 人 (58.3%)	44 人 (48.9%)	240 人 (44.4%)
未回答	0 人 (0%)	1 人 (0.7%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	1 人 (0.2%)
合 計	192 人 (100%)	143 人 (100%)	115 人 (100%)	90 人 (100%)	540 人 (100%)

(注) %は、各年次等の構成比



(3) 現在の取得学位・職業について

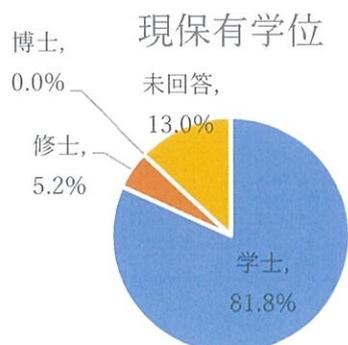
対 象：卒業生

調査票の質問項目：卒業生「問1」

質問内容：「あなたの卒業した学校名・卒業年・学位・職業を教えてください。」

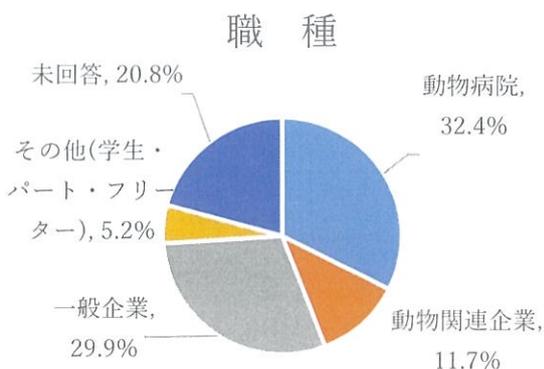
回 答	合 計
学 士	63人 (81.8%)
修 士	4人 (5.2%)
博 士	0人 (0%)
未回答	10人 (13.0%)
合 計	77人 (100%)

(注) %は、構成比



回 答	合 計
動物病院	25人 (32.4%)
動物関連企業	9人 (11.7%)
一般企業	23人 (29.9%)
その他(学生・パート・フリーター)	4人 (5.2%)
未回答	16人 (20.8%)
合計	77人 (100%)

(注) %は、構成比



(4) 所属研究室について

対 象：在学生3・4年次生（在学生1・2年次生、卒業生なし）

調査票の質問項目：在学生「問8」

質問内容：「卒業論文執筆のために所属している研究室はどちらですか。」

本項目については、進学意向に関するアンケート調査の分析と直接係わりがないため、省略。

(5) 意見・要望について

対 象：在学生 1・2 年次生、在学生 3・4 年次生、卒業生

調査票の質問番号：1・2 年次生「問 8」、3・4 次生年「問 10」、卒業生「問 7」

質問内容：「ヤマザキ動物看護大学大学院修士課程の構想について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。」

本項目については、進学意向に関するアンケート調査の分析と直接関わりがないため、省略。

大学院の学生納付金比較表（一般社団法人日本動物保健看護系大学協会加盟の8大学中4大学）

No	大学院名・研究科専攻名・課程	入学 定員	年次	入学金	授業料	実験 演習費等	施設設備費	教育維持費	福利厚生	保険料	諸会費	年間合計	学費総計 (2年間)
1	酪農学園大学院 獣医学研究科 獣医保健看護学専攻	3	初年度 2年次	140,000 -	595,000 595,000	110,000 110,000	- -	- -	- -	- -	39,000 9,000	845,000 705,000	1,550,000
2	日本獣医生命科学大学院 獣医生命科学研究所 獣医保健看護学専攻	5	初年度 2年次	200,000 -	680,000 680,000	150,000 150,000	- -	- -	10,000 -	- -	- -	1,030,000 830,000	1,860,000
3	帝京科学大学院 理工学研究科 アニマルサイエンス専攻	15	初年度 2年次	310,000 -	800,000 800,000	170,000 170,000	240,000 240,000	- -	- -	4,060 -	- -	1,520,000 1,210,000	2,730,000
4	千葉科学大学院 危機管理研究科 危機管理専攻	5	初年度 2年次	200,000 -	650,000 650,000	150,000 150,000	150,000 150,000	- -	- -	- -	- -	1,150,000 950,000	2,100,000
	平均（大学院）		-	212,500	681,250	145,000	195,000	-				1,030,000	2,060,000

動物看護師統一認定試験 認定校一覧（専門学校）（2020年1月27日現在）

No	法人名	学校名	学科・コース名	都道府県
1	学校法人工藤学園	愛犬美容看護専門学校	動物看護科	北海道
2	学校法人伊藤学園	秋田情報ビジネス専門学校	ペットビジネス科動物看護コース	秋田県
3	学校法人IPC学園	愛知ペット専門学校	動物看護科	愛知県
4	学校法人佐山学園	アジア動物専門学校	動物総合学科 ペトリナリーテクニシャンコース	茨城県
5	学校法人穴吹学園	穴吹動物専門学校	動物看護総合学科（動物総合学科） 動物健康管理学科 動物看護師専攻（動物看護学科）	広島県
6	学校法人穴吹学園	専門学校穴吹動物看護カレッジ	動物看護総合学科 動物衛生看護学科	香川県
7	学校法人日本環境科学学院	専門学校アニマルインターカレッジ	動物看護専修学科 動物看護コース 動物看護研究学科 動物看護コース	宮城県
8	学校法人高橋学園	エス・ワン動物専門学校	動物看護学科	北海道
9	学校法人コミュニケーションアート	大阪ECO動物海洋専門学校	動物看護師専攻 動物看護福祉&理学療法専攻	大阪府
10	学校法人則天学園	大阪動物海洋専門学校	動物飼育看護学科 動物看護コース	大阪府
11	学校法人立志舎	大阪動物専門学校	動物管理学科 動物看護コース	大阪府
12	学校法人立志舎	大阪動物専門学校 天王寺校	動物管理学科 動物看護コース	大阪府
13	学校法人Adachi学園	大阪ビジネスカレッジ専門学校	ペットビジネス学科 動物看護師専攻 動物看護学科	大阪府
14	学校法人宮崎学園	大阪ペイ動物看護専門学校	動物看護福祉学科 動物看護総合学科	大阪府
15	学校法人MGL学園	太田動物専門学校	ペットビジネス学科 動物看護コース	群馬県
16	学校法人シモソノ学園	大宮国際動物専門学校	動物看護・栄養学科 動物看護・エキゾチックペット学科	埼玉県
17	学校法人加計学園	岡山理科大学専門学校	動物看護学科 動物医療コース 動物看護学科 高度看護医療・臨床検査コース	岡山県
18	学校法人KBC学園	沖縄ペットワールド専門学校	動物看護美容コース 動物看護専攻（2年制） 動物看護美容コース 動物看護専攻（3年制）	沖縄県
19	学校法人河原学園	河原アイペットワールド専門学校	動物看護・栄養管理学科	愛媛県
20	学校法人安達学園	専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	動物看護学科 動物看護専攻 動物看護学科 動物看護&トリマー専攻 動物看護学科 トレーナー&動物看護専攻	福岡県
21	学校法人昭徳学園	九州動物学院	動物看護学科	熊本県
22	学校法人南京都学園	京都動物専門学校	動物看護師コース	京都府
23	学校法人HAC学園	群馬動物専門学校	動物総合学科・動物看護師コース	群馬県
24	学校法人経専学園	経専北海道どうぶつ専門学校	ペットプロデュース学科 動物看護科	北海道
25	学校法人日米学院	高知ペットビジネス専門学校	環境ペット学科 動物看護コース	高知県
26	学校法人神戸学園	神戸動物環境専門学校	1年次スモールアニマルコース、2年次動物看護師ゼミ選択の者 1年次ドッグスペシャリストコース、2年次動物看護師ゼミ選択の者	兵庫県
27	学校法人野上学園	神戸ブレイメン動物専門学校	総合コース 動物看護コース	兵庫県
28	学校法人シモソノ学園	国際動物専門学校	動物看護・理学療法学科 動物看護・栄養学科	東京都
29	学校法人国際総合学園	国際ペットワールド専門学校	動物看護師・栄養学科 動物看護師・美容学科	新潟県
30	学校法人国際ビジネス学院	国際ペット専門学校 金沢	ペット総合学科 動物看護コース イオンペット社員養成学科 動物看護コース	石川県
31	学校法人国際ビジネス学院	国際ペット専門学校 福井	ペット総合学科 動物看護コース	福井県
32	学校法人TBC学院	国際ペット総合専門学校	動物看護師学科 ペットスペシャリスト学科	栃木県
33	学校法人高村育英会	国際ペットビジネス専門学校 熱海校	ペットビジネス学科	静岡県
34	学校法人湘央学園	湘央生命科学技術専門学校	応用生物科学科 動物看護コース	神奈川県
35	学校法人滋慶文化学園	仙台ECO動物海洋専門学校	動物・ペット学科 動物看護師専攻	宮城県
36	学校法人菅原学園	仙台総合ペット専門学校	動物衛生看護科	宮城県
37	学校法人秋田学園	専門学校セントラルトリミングアカデミー	動物美容・管理学科 動物看護師コース	愛知県
38	学校法人スカイ中村学園	スカイ総合ペット専門学校	動物看護科	千葉県
39	学校法人MGL学園	高崎動物専門学校	ペットビジネス学科 動物看護コース	群馬県
40	学校法人中村学園	専門学校ちば愛犬動物フラワー学園	動物看護科	千葉県
41	学校法人中央総合学園	中央動物看護専門学校	国際動物看護学科	群馬県
42	学校法人中央工学校	中央動物専門学校	動物看護科 動物看護研究科 動物共生研究科 動物共生総合科	東京都
43	学校法人つくば文化学園	つくば国際ペット専門学校	動物看護福祉コース	茨城県
44	学校法人滋慶学園	東京コミュニケーションアート専門学校	エコ・コミュニケーション科 動物看護福祉&理学療法専攻 エコ・コミュニケーション科 動物看護師専攻	東京都
45	学校法人野上学園	東京ブレイメン動物専門学校	ペットビジネス学科総合コース ペットビジネス学科動物看護コース	東京都

No	法人名	学校名	学科・コース名	都道府県
46	学校法人孔明学園	東北愛犬専門学校	動物看護学科	宮城県
47	学校法人仙都学園	専門学校東北動物看護学院	動物看護総合学科	宮城県
48	学校法人滋慶コミュニケーションアート	名古屋ECO動物海洋専門学校	動物看護師専攻	愛知県
49	学校法人Adachi学園	専門学校名古屋スクールオブビジネス	ペットビジネス学科 動物看護師コース	愛知県
50	学校法人立志舎中央	名古屋動物専門学校	動物看護コース	愛知県
51	学校法人立志舎	日本動物専門学校	動物管理学科 動物看護コース	東京都
52	学校法人立志舎	専門学校日本動物21	動物管理学科 動物看護コース	東京都
53	学校法人安達文化学園	専門学校ビジョナリーアーツ（東京校）	ペット学科 動物看護専攻 ペット学科 動物理学療法専攻	東京都
54	学校法人英数学園	広島アニマルケア専門学校	動物看護学科・動物看護コース（2年制） 動物看護学科・動物看護コース（3年制）	広島県
55	学校法人大原学園	福井ペット&旅行ホテル専門学校	動物看護コース	福井県
56	学校法人滋慶文化学園	福岡ECO動物海洋専門学校	エコ・コミュニケーション科 ドッグマスター専攻 エコ・コミュニケーション科 動物看護師専攻 エコ・コミュニケーション科 動物看護福祉&理学療法専攻	福岡県
57	学校法人野上学園	ブレイメン動物専門学校	ペットビジネス学科 総合コース ペットビジネス学科 動物看護コース	徳島県
58	学校法人滋慶学園	北海道エコ・動物自然専門学校	動物看護・ペット学科 動物看護師専攻	北海道
59	学校法人北海道安達学園	北海道どうぶつ・医療専門学校	ペット学科動物看護専攻	北海道
60	学校法人宮崎総合学院	宮崎ペットワールド専門学校	動物看護師学科 動物看護師コース	宮崎県
61	学校法人未来学舎	専門学校未来ビジネスカレッジ	動物看護師学科	長野県
62	学校法人龍潭学園	盛岡ペットワールド専門学校	動物看護師科 ペットマスター科	岩手県
63	学校法人ヤマザキ学園	ヤマザキ動物専門学校	動物看護・美容学科 動物看護・美容・トレーニング科（動物看護学科）	東京都
64	学校法人吉田学園	吉田学園動物看護専門学校	動物看護学科	北海道
65	学校法人爽青会	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	動物看護師科（2年制） 動物看護師科（3年制）	静岡県
66	学校法人京都中央学院	YIC京都ペット総合専門学校	動物看護科	京都府
67	学校法人YIC学院	YICビジネスアート専門学校	ペット総合学科 動物看護コース	山口県
68	学校法人福岡安達学園	専門学校福岡ビジョナリーアーツ	動物看護専攻 動物理学療法専攻	福岡県



ヤマザキ動物看護大学 大学院

大学院修士課程「動物看護学研究科 2年制」

設置構想中(案)

掲載の内容は予定(案)であり変更になる場合があります。

大学院 修士課程の概要

■大学院名称 ヤマザキ動物看護大学 大学院

■研究科・専攻・分野構成及び定員

研究科	専攻	領域	就業年限	入学時期	入学定員	学位
動物看護学研究科	動物看護学専攻	動物看護学領域 動物人間関係学領域	2年制	4月	5名	修士 (動物看護学)

■開学時期 2021(令和3)年 4月 開設予定

大学院 修士課程の経緯及び目的

学校法人ヤマザキ学園は創立53年を迎え、創立以来、建学の精神に「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を掲げ、ヒトと動物の平和で豊かな共生社会をめざし、動物看護教育のパイオニアとして教育・研究に邁進してきました。

この度、ヤマザキ動物看護大学大学院は1兆5千億円の市場規模と言われる動物医療を含むペット関連産業を背景に多様化する職域に応えて、高度な知識と研究能力を備えた先端動物看護及びペット関連産業において One Health の時代に活躍する人材を養成します。

大学院 修士課程の特色

令和元年6月には「愛玩動物看護師法」が農林水産省・環境省の両省による国家資格として法制化されました。愛玩動物看護師は、獣医師のパートナーとして高度化する動物医療を支えるばかりでなく、「動物の愛護及び管理に関する法律」のもと、ヒトと動物の共生社会における公衆衛生、終生飼養や環境整備等、成長する動物関連産業において、多岐にわたる分野での活躍が期待されています。

そのことから、本大学院修士課程では、動物看護学部において取得した学士(動物看護学)の学位を基に「動物看護学領域」及び「動物人間関係学領域」の2つの専門性の高い領域を包括することを教育の特色としました。

養成する人材像 動物看護学領域と動物人間関係学領域の2領域

<p>動物看護学領域</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 先端動物看護学分野の研究に携わり、動物病院等で従事する愛玩動物看護師として、高度動物医療の発展に貢献できる人材 • 動物解剖生理学・動物病理学分野の研究に携わり、愛玩動物看護師の養成教育機関（専門学校等）における学生教育・指導の発展に貢献できる人材
<p>動物人間関係学領域</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • ヒトと動物に関連する公衆衛生学分野の研究に携わり、関連産業等の未来、ヒトと動物の共生に貢献できる人材 • 愛玩動物の特性の研究に携わり、生命倫理を踏まえ、動物愛護・福祉団体並びに関連企業等においてヒトと動物の共生社会構築に貢献できる人材

愛玩動物看護師を養成する学部を基礎とする大学院

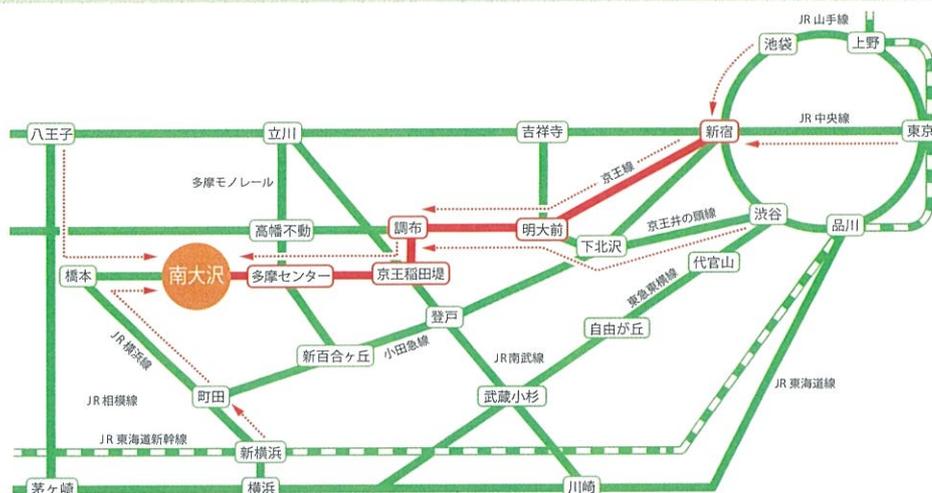
都道県名	大学院名 研究科・専攻名	入学金	授業料 (実験演習費等を含む)	施設・維持費	初年度納付金 (2年間の納付金)
東京	ヤマザキ動物看護大学大学院 (開設予定) 動物看護学研究科 動物看護学専攻	免除※	800,000円	150,000円	950,000円 (1,900,000円)
東京	日本獣医生命科学大学大学院 獣医生命科学研究科 獣医保健看護学専攻	200,000円	830,000円	—	1,030,000円 (1,860,000円)
北海道	酪農学園大学大学院 獣医学研究科 獣医保健看護学専攻	140,000円	705,000円	—	845,000円 (1,550,000円)
山梨	帝京科学大学大学院 理工学研究科 アニマルサイエンス専攻	310,000円	970,000円	240,000円	1,520,000円 (2,730,000円)
千葉	千葉科学大学大学院 危機管理学研究科 危機管理学専攻	200,000円	800,000円	150,000円	1,150,000円 (2,100,000円)

※学校法人ヤマザキ学園の卒業生は15万円の入学金を免除します。

メインキャンパス

■ 南大沢キャンパス

東京都八王子市南大沢 4-7-2
京王相模原線
「南大沢駅」徒歩10分



開設予定の大学院に
関するお問い合わせ先

学校法人ヤマザキ学園 大学院設置準備室

東京都八王子市南大沢 4-7-2 / TEL 042-689-5254 (代表)

ヤマザキ動物看護大学大学院（修士課程）設置に関するアンケート調査票

このアンケート調査は、本学の大学院教育に関する意向、職員採用及び職員の教育に関する意向等についてお聞きし、ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程（動物看護学研究科・2年制）設置の基礎資料とするものです。

この修士課程は、高度な知識や技術を持ち、動物病院でヒトと動物の共生に貢献できる人材を養成します。文部科学省への申請準備にあたり、貴病院のご意見をいただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、申請書類の統計資料としてのみ用い、外部に公開することはありません。

【貴病院について】

【回答欄】

問1 貴病院の所在地はどこですか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- | | | |
|-------|------------|-------|
| 1 東京都 | 2 神奈川県 | 3 埼玉県 |
| 4 千葉県 | 5 茨城県 | 6 栃木県 |
| 7 群馬県 | 8 その他（具体的に |) |

【ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科 動物看護学専攻について】

問2 当大学院のリーフレットを読んでお答えください。

貴病院では本学の大学院動物看護学研究科についてどう考えますか。

次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- | | | |
|---------------|-------|--------------|
| 1 大いに興味・関心がある | _____ | → 問3へお進みください |
| 2 興味・関心がある | _____ | |
| 3 あまり興味・関心はない | _____ | |
| 4 全く興味・関心がない | _____ | → 問4へお進みください |
| 5 未定 | _____ | |

問3 問2で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から該当するものを選んでください。（複数可）

- 1 貴病院で必要とする研究分野だから
- 2 高度で実践的知識を持つ人材が必要だから
- 3 ヤマザキ動物看護大学に設置される大学院だから
- 4 愛玩動物看護師が国家資格されたから
- 4 その他（具体的に

問4 貴病院では将来、本学の大学院動物看護学研究科（修士課程）の修了者が社会で必要とされていると考えますか。

- 1 大いに必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない
- 5 わからない

－裏面にお進みください－

- 問5 貴病院では将来、本学の大学院動物看護学研究科の修了者（修士課程）の採用を検討されますか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。
- 1 ぜひ採用したい
 - 2 採用を考える
 - 3 採用は考えない
 - 4 未定
 - 5 その他（具体的に)
-

[職員が進学することについて]

※ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科は社会人入学制度を構想中です。

- 問6 貴病院では、職員から入学希望者があれば許可されますか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。
- 1 積極的に許可する
 - 2 検討する
 - 3 許可しない
 - 4 未定
 - 5 その他（具体的に)
-

- 問7 ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科の整備について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

返信用封筒にてご返送ください。

ヤマザキ動物看護大学大学院（修士課程）設置に関するアンケート調査票

このアンケート調査は、貴事業所の本大学院に関する意向、社員採用及び社員の教育に関する意向等についてお聞きし、ヤマザキ動物看護大学大学院 修士課程（動物看護学研究科・2年制）設置の基礎資料とするものです。

この修士課程は、高度な知識や技術を持ち、動物関連企業・団体等でヒトと動物の共生に貢献できる人材を養成します。文部科学省への申請準備にあたり、貴事業所のご意見をいただきたく、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、申請書類の統計資料としてのみ用い、外部に公開することはありません。

【貴事業所について】

【回答欄】

問1 貴事業所の所在地はどこですか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- | | | |
|-------|------------|-------|
| 1 東京都 | 2 神奈川県 | 3 埼玉県 |
| 4 千葉県 | 5 茨城県 | 6 栃木県 |
| 7 群馬県 | 8 その他（具体的に |) |

問2 貴事業所の設置主体は次のどれに該当しますか。一つだけ選んでください。

- | |
|----------------|
| 1 株式会社 |
| 2 有限会社 |
| 3 個人経営 |
| 4 その他、法人等（具体的に |

【ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科 動物看護学専攻について】

問3 当大学院のリーフレットを読んでお答えください。

貴事業所では本学の大学院動物看護学研究科についてどう考えますか。

次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- | | | |
|---------------|---|------------|
| 1 大いに興味・関心がある | → | 問4へお進みください |
| 2 興味・関心がある | → | |
| 3 あまり興味・関心はない | → | |
| 4 全く興味・関心がない | → | 問5へお進みください |
| 5 未定 | → | |

問4 問3で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。次の中から該当するものを選んでください。（複数可）

- | |
|--------------------------|
| 1 貴事業所で必要とする研究分野だから |
| 2 高度で実践的知識を持つ人材が必要だから |
| 3 ヤマザキ動物看護大学に設置される大学院だから |
| 4 愛玩動物看護師が国家資格されたから |
| 5 その他（具体的に |

－裏面にお進みください－

問5 貴事業所では将来、本学の大学院動物看護学研究科（修士課程）の修了者が社会で必要とされると考えますか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- 1 大いに必要である
- 2 必要である
- 3 あまり必要でない
- 4 必要でない
- 5 わからない

問6 貴事業所では将来、本学の大学院動物看護学研究科の修了者（修士課程）の採用を検討されますか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- 1 ぜひ採用したい
- 2 採用を考える
- 3 採用は考えない
- 4 未定
- 5 その他（具体的に)

[社員が進学することについて]

※ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科は社会人入学制度を構想中です。

問7 貴事業所では、社員から入学希望者があれば許可されますか。次の中から該当するものを一つだけ選んでください。

- 1 積極的に許可する
- 2 検討する
- 3 許可しない
- 4 未定
- 5 その他（具体的に)

問8 ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科の整備について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

返信用封筒にてご返送ください。

ヤマザキ動物看護大学大学院「動物看護学研究科動物看護学専攻」の
採用意向に関するアンケート調査報告

1. 概 要

(1) 調査目的

令和 3 (2021) 年 4 月設置予定である「ヤマザキ動物看護大学大学院動物看護学研究科動物看護学専攻」(以下、本研究科という) への動物病院及び動物関連企業・団体等の人材需要を把握することを目的とする。

(2) 調査対象及び有効回答率等

調査対象数は、動物病院及び動物関連企業・団体等 1,645 件とし、このうち、有効回答数は 325 件 (19.7%) であった。(表 1)

調査対象の動物病院及び動物関連企業・団体等 1,645 件のうち、動物病院が 1,463 件、動物関連企業・団体等が 182 件である。有効回答率は、動物病院が 18.8%、動物関連企業・団体等が 27.5% であった。

(表 1)

種 別	調査対象数	回答数 (回答率)
動物病院	1,463 件	275 件 (18.8%)
動物関連企業・団体等	182 件	50 件 (27.5%)
合 計	1,645 件	325 件 (19.7%)

(3) 調査方法

[動物病院]

- ① 計 1,463 件の動物病院に対し、本研究科の概要 (リーフレット) 及びアンケート調査票を送付し、アンケート結果を回収した。

[動物関連企業・団体等]

- ② 計 182 件の動物関連企業・団体等に対し、本研究科の概要 (リーフレット) 及びアンケート調査票を送付し、アンケート結果を回収した。

(4) 調査実施期間

令和 2 (2020) 年 1 月～令和 2 (2020) 年 2 月

2. 各質問項目別のアンケート結果

動物病院及び動物関連企業・団体等へのアンケート結果（主要項目）を集計し分析した。なお、同一の質問で、動物病院及び動物関連企業・団体等で質問番号が異なる場合は、まとめて集計表を作成し分析した。その際には、動物病院及び動物関連企業・団体等の質問番号を記載した。さらに、その他の質問についてはこの調査結果報告の最後（まとめの後）に記載した。

(1) 興味・関心について

対 象：動物病院及び動物関連企業・団体等

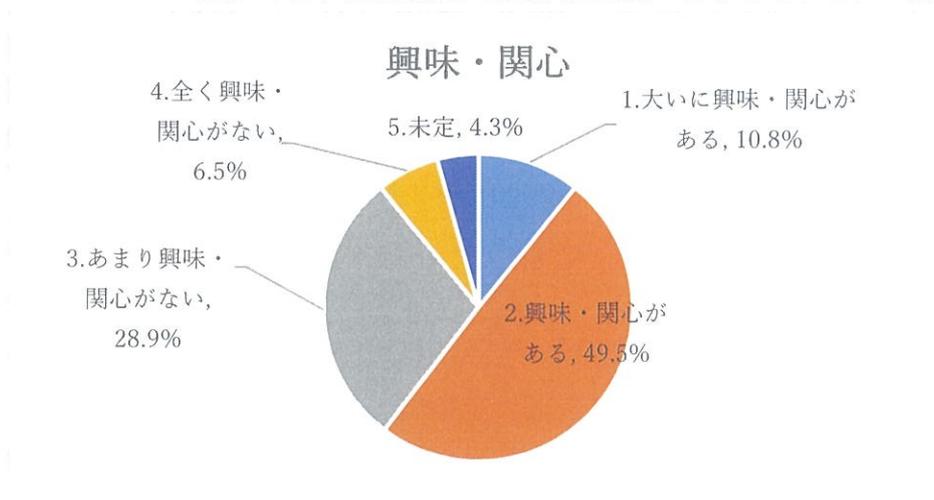
調査票の質問番号：動物病院「問 2」、動物関連企業・団体等「問 3」

質問内容：「貴病院／貴事業所では本学の大学院動物看護学研究科についてどう考えますか。」

本研究科への興味・関心について調査した結果、回答数 325 件のうち、「大いに興味・関心がある」が 35 件（10.8%）、「興味・関心がある」が 161 件（49.5%）であり、半数以上の動物病院及び動物関連企業・団体等が本研究科設置に興味を持っていることが分かる。

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. 大いに興味・関心がある	25 件 (9.1%)	10 件 (20.0%)	35 件 (10.8%)
2. 興味・関心がある	134 件 (48.7%)	27 件 (54.0%)	161 件 (49.5%)
3.あまり興味・関心がない	85 件 (30.9%)	9 件 (18.0%)	94 件 (28.9%)
4.全く興味・関心がない	20 件 (7.3%)	1 件 (2.0%)	21 件 (6.5%)
5.未定	11 件 (4.0%)	3 件 (6.0%)	14 件 (4.3%)
合 計	275 件 (100%)	50 件 (100%)	325 件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比



(2) 興味・関心がある理由

対 象：動物病院及び動物関連企業・団体等

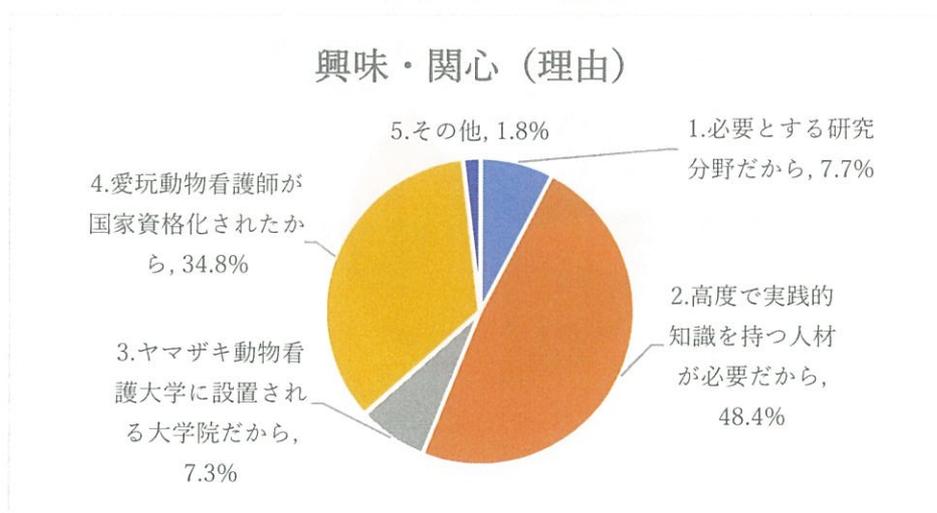
調査票の質問番号：動物病院「問3」、動物関連企業・団体等「問4」

質問内容：「問2（問3）で「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」と回答された方におたずねします。それは、どのような理由からですか。」

本研究科に「大いに興味・関心がある」「興味・関心がある」とした理由を調査した結果、のべ回答数273件のうち、「高度で実践的知識を持つ人材が必要だから」が132件（48.4%）と最も多く、次いで「愛玩動物看護師が国家資格化されたから」が95件（34.8%）であり、動物病院及び動物関連企業・団体等は愛玩動物看護師が国家資格化されたことにより、高度で実践的知識を持つ人材が必要であると考えていることが分かる。

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. 必要とする研究分野だから	14件 (6.4%)	7件 (12.7%)	21件 (7.7%)
2. 高度で実践的知識を持つ 人材が必要だから	105件 (48.2%)	27件 (49.1%)	132件 (48.4%)
3. ヤマザキ動物看護大学に 設置される大学院だから	16件 (7.3%)	4件 (7.3%)	20件 (7.3%)
4. 愛玩動物看護師が国家資格 化されたから	79件 (36.3%)	16件 (29.1%)	95件 (34.8%)
5. その他	4件 (1.8%)	1件 (1.8%)	5件 (1.8%)
合 計	218件 (100%)	55件 (100%)	273件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比



(3) 本研究科修了者の社会での必要性について

対 象：動物病院及び動物関連企業・団体等

調査票の質問番号：動物病院「問 4」、動物関連企業・団体等「問 5」

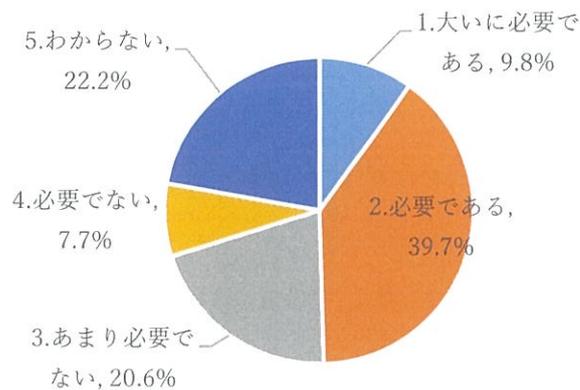
質問内容：「貴病院（事業所）では将来、本学の大学院動物看護学研究科（修士課程）の修了者が社会で必要とされていると考えますか。」

本研究科修了者の社会での必要性について調査した結果、回答数 325 件のうち、「大いに必要である」が 32 件（9.8%）、「必要である」が 129 件（39.7%）と、必要であるが約半数を占めており、動物病院及び動物関連企業・団体等は、本研究科修了者が社会で必要とされていると考えていることが分かる。

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. 大いに必要である	25 件 (9.1%)	7 件 (14.0%)	32 件 (9.8%)
2. 必要である	103 件 (37.5%)	26 件 (52.0%)	129 件 (39.7%)
3. あまり必要でない	63 件 (22.9%)	4 件 (8.0%)	67 件 (20.6%)
4. 必要でない	25 件 (9.1%)	0 件 (0%)	25 件 (7.7%)
5. わからない	59 件 (21.4%)	13 件 (26.0%)	72 件 (22.2%)
合 計	275 件 (100%)	50 件 (100%)	325 件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比

社会での必要性



(4) 本研究科の修了者の採用について

対 象：動物病院及び動物関連企業・団体等

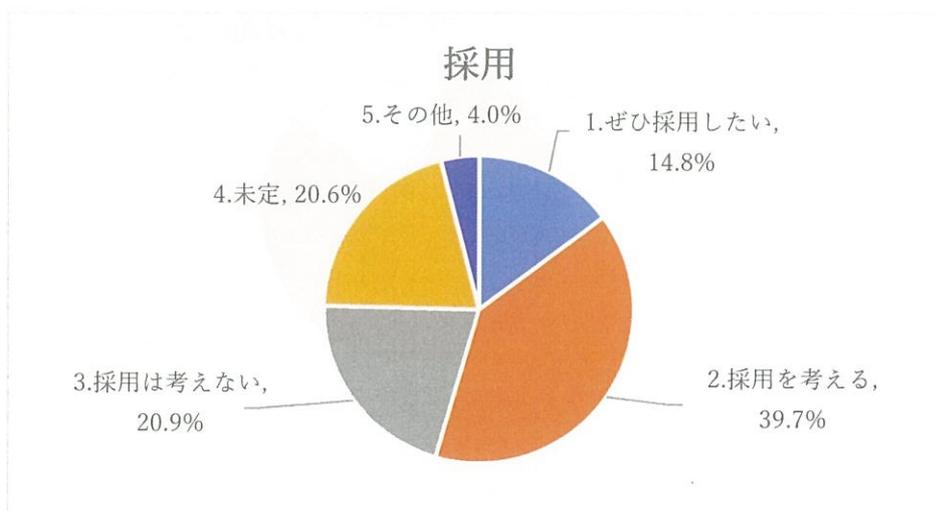
調査票の質問番号：動物病院「問 5」、動物関連企業・団体等「問 6」

質問内容：「貴病院（事業所）では将来、本学の大学院動物看護学研究科の修了者（修士課程）の採用を検討されますか。」

本研究科修了者の採用意向について調査した結果、回答数 325 件のうち、「ぜひ採用したい」が 48 件（14.8%）、「採用を考える」が 129 件（39.7%）であり、動物病院及び動物関連企業・団体等の約半数が本研究科修了者について採用意向を示していることが分かる。

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. ぜひ採用したい	42 件 (15.3%)	6 件 (12.0%)	48 件 (14.8%)
2. 採用を考える	105 件 (38.2%)	24 件 (48.0%)	129 件 (39.7%)
3. 採用は考えない	61 件 (22.2%)	7 件 (14.0%)	68 件 (20.9%)
4.未定	56 件 (20.3%)	11 件 (22.0%)	67 件 (20.6%)
5.その他	11 件 (4.0%)	2 件 (4.0%)	13 件 (4.0%)
合 計	275 件 (100%)	50 件 (100%)	325 件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比



(5) 職員（社員）から本研究科への入学希望者について

対 象：動物病院及び動物関連企業・団体等

調査票の質問番号：動物病院「問 6」、動物関連企業・団体等「問 7」

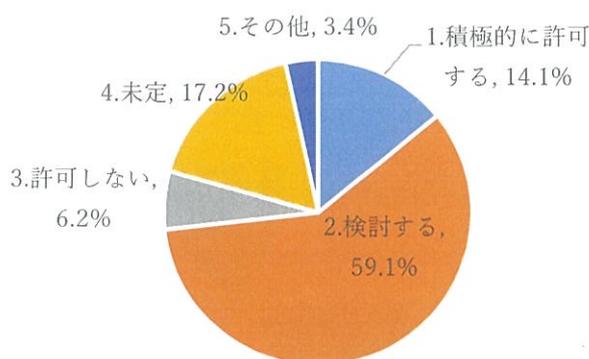
質問内容：「貴病院（事業所）では、職員から入学希望者があれば許可されますか。」

職員（社員）から本研究科への入学希望者がいた場合の許可について調査した結果、回答数 325 件のうち、「積極的に許可する」が 46 件（14.2%）、「検討する」が 192 件（59.1%）となっており、7 割以上の動物病院及び動物関連企業・団体等は職員（社員）が修士課程へ進学することについて理解を示していることが分かる。

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. 積極的に許可する	41 件 (14.9%)	5 件 (10.0%)	46 件 (14.1%)
2. 検討する	168 件 (61.1%)	24 件 (48.0%)	192 件 (59.1%)
3. 許可しない	13 件 (4.7%)	7 件 (14.0%)	20 件 (6.2%)
4. 未定	45 件 (16.4%)	11 件 (22.0%)	56 件 (17.2%)
5.その他	8 件 (2.9%)	3 件 (6.0%)	11 件 (3.4%)
合 計	275 件 (100%)	50 件 (100%)	325 件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比

職員（社員）から本学修士課程への入学希望



3. アンケート調査結果まとめ（主要項目）

「2. 結果」(P3)の「(2) 興味・関心がある理由」の回答結果(表2)によると、「高度で実践的知識を持つ人材が必要だから」が132件(48.4%)、次いで「愛玩動物看護師が国家資格化されたから」が95件(34.8%)と、動物看護師が国家資格化され、家族の一員であるコンパニオンアニマルを対象とする動物医療がますます高度化・専門化していく中で、高度医療を支える高度で実践的な知識を持つ人材が動物関連産業に求められていることが分かる。

(表2) 本研究科修士課程への興味・関心について

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. 必要とする研究分野だから	14件 (6.4%)	7件 (12.7%)	21件 (7.7%)
2. 高度で実践的知識を持つ 人材が必要だから	105件 (48.2%)	27件 (49.1%)	132件 (48.4%)
3. ヤマザキ動物看護大学に 設置される大学院だから	16件 (7.3%)	4件 (7.3%)	20件 (7.3%)
4. 愛玩動物看護師が国家資格化 されたから	79件 (36.3%)	16件 (29.1%)	95件 (34.8%)
5. その他	4件 (1.8%)	1件 (1.8%)	5件 (1.8%)
合 計	218件 (100%)	55件 (100%)	273件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比

また、(P5)の「(4) 本研究科の修了者の採用について」の回答結果(表3)によると、本研究科修了者の採用意向について「ぜひ採用したい」「採用を考える」と回答した動物病院及び動物関連企業・団体等が177件(「ぜひ採用したい」:48件(14.8%)、「採用を考える」129件(39.7%))であり、半数以上に採用意向があることが分かる。

(表3)

回 答	動物病院	動物関連企業・ 団体等	合 計
1. ぜひ採用したい	42件 (15.3%)	6件 (12.0%)	48件 (14.8%)
2. 採用を考える	105件 (38.2%)	24件 (48.0%)	129件 (39.7%)
3. 採用は考えない	61件 (22.2%)	7件 (14.0%)	68件 (20.9%)
4. 未定	56件 (20.3%)	11件 (22.0%)	67件 (20.6%)
5. その他	11件 (4.0%)	2件 (4.0%)	13件 (4.0%)
合 計	275件 (100%)	50件 (100%)	325件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比

以上の調査結果から、今後ますます動物医療が高度化・専門化していく中で、高度動物医療を支える動物看護教育が求められており、併せて、動物病院及び動物関連企業・団体等の半数以上が採用意向を示していることから、本研究科修了者が動物関連産業に求められていることが分かる。

4. その他のアンケート結果

主要なアンケート項目については、「2. 各質問項目別のアンケート結果」で集計・分析しているが、その他の項目については、以下にまとめた。

(1) 所在地について

対 象：動物病院及び動物関連企業・団体等

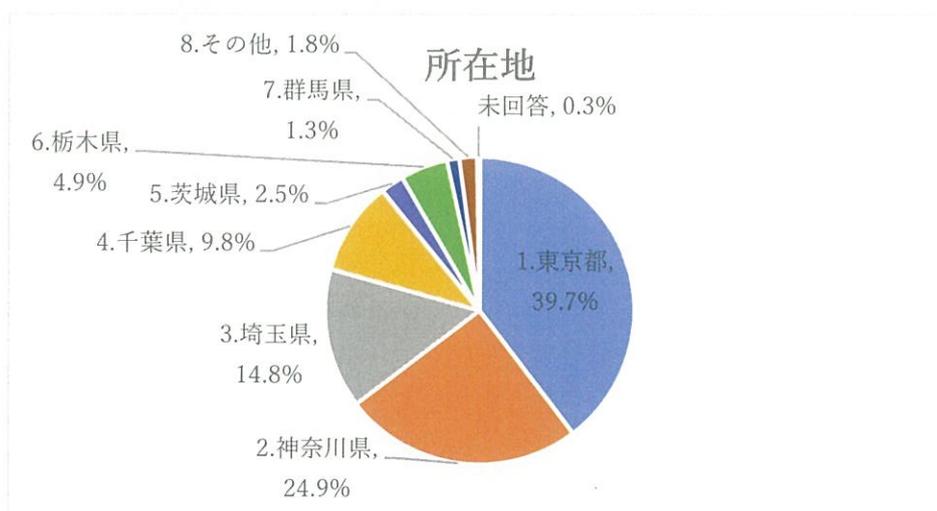
調査票：問 1

質 問：「貴病院（事業所）の所在地はどこですか。」

所在地について調査した結果、回答数 325 件のうち、「東京都」が 129 件（39.7%）と最も多く、次いで「神奈川県」81 件（24.9%）、「埼玉県」48 件（14.8%）の順になっており、東京都が最も多い。

回 答	動物病院	動物関連企業・団体等	合 計
1. 東京都	99 件 (36.0%)	30 件 (60.0%)	129 件 (39.7%)
2. 神奈川県	74 件 (26.9%)	7 件 (14.0%)	81 件 (24.9%)
3. 埼玉県	44 件 (16.0%)	4 件 (8.0%)	48 件 (14.8%)
4. 千葉県	30 件 (10.9%)	2 件 (4.0%)	32 件 (9.8%)
5. 茨城県	6 件 (2.2%)	2 件 (4.0%)	8 件 (2.5%)
6. 栃木県	14 件 (5.1%)	2 件 (4.0%)	16 件 (4.9%)
7. 群馬県	4 件 (1.5%)	0 件 (0%)	4 件 (1.3%)
8. その他	3 件 (1.1%)	3 件 (6.0%)	6 件 (1.8%)
未回答	1 件 (0.4%)	0 件 (0%)	1 件 (0.3%)
合 計	275 件 (100%)	50 件 (100%)	325 件 (100%)

(注) %は、動物病院、動物関連企業・団体等それぞれの構成比



(2) 事業所の設置主体について

対 象：動物関連企業・団体等

調査票：動物関連企業・団体等「問 2」（動物病院なし）

質 問：「貴事業所の設置主体は次のどれに該当しますか。」

本項目については、採用意向に関するアンケート調査の分析と直接係わりがないため、省略。

(3) 意見・要望について

対 象：動物病院及び動物関連企業・団体等

調査票：動物病院「問 7」、動物関連企業・団体等「問 8」

質 問：「ヤマザキ動物看護大学大学院 動物看護学研究科の整備について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。」

本項目については、採用意向に関するアンケート調査の分析と直接係わりがないため、省略。